
逃走中 遊園地の怪事件

翡翠 煉

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

逃走中 遊園地の怪事件

【Nコード】

N5873P

【作者名】

翡翠 煉

【あらすじ】

とある遊園地に30名の逃走者が集まった。

スターランドにて、170分の逃走中が今始まる。

ゲーム前のデータ（前書き）

今回は簡単な情報です。

キャラもエリアもだいぶ大雑把です。

ゲーム前のデータ

キャラ紹介

西チーム

マリオシリーズ

マリオ

ルイージ

ピーチ

ヨッシー

クッパ

ワリオ

ワルイージ

ボスバクン

ドンキーコング

星のカービィ

カービィ

メタナイト

デデデ

ルーンファクトリー

ラグナ

リン

東チーム

ハヤテのごとく

ハヤテ

ヒナギク

東方

霊夢

魔理沙

スマブラ

リンク

ピット

リユカ

ネス

マルス

アイク

アイスクライマー

ピカチュウ

ルカリオ

スネーク

ボーカロイド

初音ミク

以上30名の逃走者

そして、今回のエリア。

スターパーク。

結構大きく、さらに道が広く、ハンターに見つかりやすい。

尚、今回は、エリアに客がいる状態で行われる。

そして、賞金は162万円。

ファーストステージは60分。1秒50円上昇する。

そして、セカンドステージは110分。80分までは100円。

50分までは200円、のこりの50分間は300円、1秒ごとに上昇する。

ゲーム前のデータ（後書き）

グダグダだ・・・

次回本編入ります。

オープニングゲーム（前書き）

はい、今回は、オープニングゲームです。

それでは、どうぞ！

オープニングゲーム

遊園地の入場口の奥にあるメインストリートの入り口に、15人の逃走者が集められた。

マリオ「遂に始まるのか・・・」

カービィ「絶対逃げ切ってたくさん食べたいな」

ラグナ「そろそろ始まるな・・・」

その時、高い声が聞こえてきた。

『これより、逃走中を始める。しかし、逃走者は、君たちだけではない』

ルイージ「へ？」

すると、突然テレビの画面がついた。

ハヤテ『え、あなたたちも逃走者ですか！？』

スネーク『まさかとは思ったが、マリオたちも出るのか』

画面の向こうには、15人の別の逃走者がいた。

そう、今回の逃走中は、2ステージ存在する。

『まずは、逃走者には、オープニングゲームをしてもらう。』

そして、ハンターを解放してしまった方がファーストステージ、放出しなかった方がセカンドステージのエリアとなる』

デデデ「そんなことはいいからさっさと始めるぞい！」

『君たちの目の前にあるハンターボックスは、サイコロと連動しており、出た目により、相手のエリアのハンターボックスが前進する。16マス進んだほうが1分後にハンターを解放する。そして、目には、ハンターの目があり、それが出れば、出したほうが即放出となる。』

なお、先後は、ジャンケンで決める』

マリオ ハヤテ「ジャンケンポイ」

マリオがグー ハヤテがチョキ

マリオは、相手の自滅狙いの後攻を選択。

東チーム一人目は、ピット。

ピット「いきまーす！」

勢いよくサイコロを振るピット。

でた目は・・・1だ。

西チーム側のハンターボックスが、1マス進む。

西チーム一人目は、ジーノ。

ジーノ「それじゃあ、いくよ」

静かにサイコロを振る。出た目は、2だ。

東チームのボックスが、2マス進む。

その後、東チーム、霊夢が4をだし、西チーム4進む。

西チーム、リーンも4をだす。東チーム4進む。

東チーム、初音ミクは2をだし、西チーム2進む。

西チーム、ワリオが3を出し、東チーム3進む。

そして、ルカリオ、ボスパックンがそれぞれ3を出す。

東チームは残り4マス。西チームは残り6マスとなった。

東チーム5人目は、桂ヒナギク。

ヒナギク「ここでいい目を出さないと・・・」

そして、出た目は・・・5だ。

西チーム「ええー！。そんなー」

ここで西チームは、4か5を出さなければ相手がハンターの目を
出さなければこちらが開放となる。

そして、西チーム5人目はラグナ。

ラグナ「何が出ても文句は言わないでくださいね」

出た目は・・・1だ。

ラグナ以外の西チーム「ラグナ！」

ラグナ「ご、ごめん」

西チームの、自力の勝利は無くなった・・・」

東チーム6人目は、アイスクライマー。

アイスクライマー「行くよー」

出た目は、3だ。

西チーム「逃げろー！！」

ハンター開放まで後5

4

3

2

1

エリアに3体のハンターが放たれた。

そして、ゲームが始まった・・・

オープニングゲーム（後書き）

ちなみに、実際に事前にサイコロ使いました。

ミッション1（前書き）

西エリアの地形紹介。

主に5つのエリアで構成されており、

エンジェルフォールエリア

スターラインシューティングエリア

ジャングルクルーズエリア

ホラーパーティーエリア

アースストリートエリア

がある。

また、エンジェルフォールエリアにはミニ迷路。

ジャングルクルーズエリアにはミニアスレチックが存在する。

ミッション1

ゲームが始まった。

ハヤテ「あつちではもう始まったようですね」

ミク「そうだけど、60分で18万って酷じゃない？」

ファーストステージ免除となった東チーム。

西チームはというと・・・

マリオ「絶対逃げ切るぞ」

カメラマン「自首は？」

マリオ「絶対にしない！」

リン「僕、早めに自首しようかな？」

二人の言う自首をするには、エリアにある電話ボックスで、電話するとできる。

リン「20万くらいでいいかな？」

そのころ、新アトラクションであるスターラインシューティング前で、ある事件が起きていた。

スタッフ1「おい、花火が無いぞ!」

スタッフ2「おい、嘘だろ」

スタッフ3「あれが無いとオープニングがしまらないぞ!」

そして、花火の発射装置の後ろには、7個のハンターボックスがあった。

ブルルルル

ルイージ「メールだ」

ボスパックン「スターラインシューティング前に、7つのハンターボックスが置かれた」

ラグナ「ゲーム終了残り50分になると、ハンターが解放される」

カービィ「阻止するには、君たちが持っている花火球を、前にいるスタッフに渡せ」

ワリオ「尚、完全に阻止するには、7つ花火球を渡さなければならぬ」

ミッション1 ハンターボックスを封印せよ。

スターラインシューティング前に7つのハンターボックスが設置された。

ゲーム終了のこり50分になると、ハンターが解放される。

阻止するには、最低7人が花火球をスタッフに渡さなければならぬ。

マリオ「俺は行くぞ！」

リン「今のうちにミッションに参加しないと」

カービィ「僕は参加するよ」

ルイーザ「できたら参加しよう」

ジーノ「ま、行くか」

今のところミッションに参加するのは、この5人だけのようだ」

残り56分

続く

ミッション1（後書き）

ミッションのドラマが無いミッションもあるかもしれません。

ミッション1 その2（前書き）

勉強しないと・・・

更新したい・・・

どうしろと？

ミッション1 その2

ミッション 1 その2

ミッションが始まった。

ボスパックン「近かったら行くが・・・ここはどこだ？」

場所がわからない花。

じつは、今ボスパックンがいる所は、スターラインシューティングの裏側で一番近い。

いつきずくだろう？

デデデ「こんなミッション参加しないデ」

ミッションに参加するつもりの無いデデデ。

しかし、彼の前方にはハンター。

ハンター「・・・！」

見つけた。

デデデ「早く60分過ぎてほしいデ・・・は、ハンターだデ！」

急いで逃げるデデデ。しかし・・・

『ぼん』 ジャングルクルーズエリアにてデデデ確保の
こり14人

デデデ「一番最初につかまったデ」

残念な、大王だ。

ピピピピピ

カービィ「メールだ・・・あ、大王つかまった」

ラグナ「案外残れるかも！」

そうこうしている間に・・・

マリオ「やっとなつた・・・ ほい、花火」

スタッフ1「ありがとうございます！」

マリオ「ところで・・・勝手に一般人が花火上げてもいいのか？」

スタッフ1「ああ、それなら・・・」

スタッフ2「僕の本職は、花火職人なのでそういう免許はもってますし許可ももらっています」

マリオ「そ、そうなのか・・・」

ジーノ「あ、マリオ。もういたのか」

ボスパックン「あ、意外と近くにあったな」

マリオ「お、ジーノ、ボスパックン、お前らもミッション来たのか」

ジーノ「ああ、そうだ。はい、花火」

ボスパックン「案外近かったからな。あ、俺も、ほい」

マリオ「じゃ、これで。絶対に逃げ切ろうな」

ジーノ「ああ、そうだな」

ボスパックン「また会おうな」

3人は別々の方向に行った。

ルイージ「やっとスターラインシューティングのエリアに着いたよ」

しかし、曲がり道の先にハンター。

ルイージ「絶対に兄さんやカービィはミッションに参加するでしょ」

ハンター「！」

ルイージ「え……」

『ポン』 スターラインシューティングエリアにてルイージ
確保 残り13人

ルイージ「そりゃないよ・・・」

残念・・・二番手。

ピピピピピ

マリオ「メールか・・・なに！ルイージがつかまっただ！」

ジーノ「つかまった場所を見ると、きっとミッションに参加しよう
としたんだろうな」

ゲーム終了まで、残り53分。

ミッションクリアまであと4人。

このままだと、4体のハンターが開放されてしまう。

ミッション1終了まで残り3分。

続く

ミッション1 その2（後書き）

前回の話書いた後で勝手に花火上げてもいいのかってきずいたりもした。

ミッション1 その3 そして・・・(前書き)

新作製作中です。

逃走中系では、ありません。

ミッション1 その3 そして・・・

ミッション1 その3

ミッション残り時間は3分。

そして必要な花火球はあと4個。

ラグナ「ミッション行こうかなー？」

彼がいるのはスターラインシューティングエリアに近いアースストリートエリア。

このエリアは、まっすぐで、中心以外の出入り口は両端にしかない。

彼はその中心にいる。

ラグナ「いこうかな？」

ラグナに近づくのは・・・

カービィ「あーっ、ラグナ！」

カービィだった。

ラグナ「カービィか。ミッション行く？」

カービィ「うん、いくよー。ラグナは行くのー」

ラグナ「うん。僕も行くよ」

ミッションに行くことを決めたようだ。

メタナイト「そろそろ行くか」

ミッションに行くことを決めたエンジェルフォールエリアにいるメタナイト。

しかし、彼の後ろには、ハンター。

ハンター「・・・！」

見つかった・・・

メタナイト「・・・時間が無いな。走っていこう」

ハンターにきずいていないようだ・・・

しかし、ハンターとの距離はまったく縮まない。

メタナイト「やっとついた・・・これでいいな・・・」

スタッフ1「はいありがとうございます。これであと3個です」

メタナイト「何！？ あと2分だぞ！」

『ぼん』

スターラインシューティングエリアにてメ

タナイト確保　残り12名

メタナイト「え、終わり？」

マリオ「メールか・・・メタナイト捕まったっぽいな」

クツパ「『あと、花火球はあと3個である』って、もう時間が無いぞ！」

カービィ「あった！」

ラグナ「でも、もう時間が無いぞ！」

何とかたどりついたようだ・・・

カービィ「はい、花火！」

ラグナ「こっちもです！」

スタッフ1「ありがとう。でも、まだ1個足りない！」

カービィ「あ、忘れてた。もう1個もってます」

スタッフ1「ありがとうございます！これで足够了」

ミッション　クリア

ラグナ「なんでもうひとつ持ってたの？」

カービィ「それはね・・・」

カービィ『ミッション行かないと・・・』

ワリオ『おう、カービィじゃねーか』

カービィ『あ、ワリオ。ミッション行かないの？』

ワリオ『行かんぜ』

カービィ『そう・・・なら、花火球ちょうだい』

ワリオ『まあ、いいが・・・』

カービィ「ということなんだ」

ラグナ「そうなんだ。クリアできてよかったー」

スタッフ1「なんとか間に合ったな」

スタッフ2「これでここにたくさんの人が来るだろうな」

『ぴぴぴぴ』

クッパ「メールか。『ミッション1結果。』」

リン「『マリオ、ボスパックン、ジーノ、メタナイト、ラグナ、カービィの活躍により』結局ミッション行けなかったな・・・」

マリオ「『7つの花火球が届けられた』あれ？6人しかない」

ドンキーコング「『それにより、ハンターの放出は無い』」

ラグナ「『また、エリアのどこかにアイテムが入った宝箱が6個置かれた』あれ？なんだ」

ジーノ「『ゲーム終了残り45分までに宝箱を開ければ、その中身のアイテムが使える』」

ヨッシー「『急ぎたまえ！』急ぎたまえて、どこにあるんですか！」

こうして、アイテム争奪戦が始まった！

残り49分

続く

ミッション1 その3 そして・・・（後書き）

ここで皆さんだけにアイテムのありかを教えます。

アイテムは、エンジェルフォールのミニ迷路の中にあります。

アイテム争奪戦（前書き）

誰がどんなアイテムをてにいれるのか！

アイテム争奪戦

アイテム争奪戦

マリオ「どこにあるんだ？」

運よくそのエリアにいたマリオ。

しかし、彼は、そこにアイテムがあるとは知らない。

ちなみに、ミニ迷路の中にいるのは、マリオ、ピーチ、ワルイージ、リーンの4人。

しかし、その中にも一体ハンターが・・・

マリオ「と思ったらアイテム発見！」

マリオ アイテム発見。

マリオ「さてと、中身は・・・！ こ、これは羽根！？」

効果、1分間の飛行が可能となる。また、マリオやヨッシーのみ、5分となる。

カメラマン「いいアイテム入手できましたね」

確かに、ラッキーだ。

ピーチ「アイテムどこ？」

アイテムを探す姫。

しかし、その近くに黒い影・・・

ハンター「・・・！」

見つかった・・・

ピーチ「見つかった！」

ハンターとの距離はどんどん縮まっていく・・・

『ポン』 エンジェルフォールミニ迷路内にてピーチ確保
残り11名

ピーチ「すぐつかまった・・・」

しかし、ハンターは新しい標的を見つけた。

ラグナ「あ、ハンター！」

ラグナだ・・・

ラグナ「速い・・・あ、宝箱！」

前が行き止まりなのでこれにかけるラグナ。

ラグナ「アイテムは・・・封印札 効果は！」

効果、3分だけハンターにつければ、封印できる。3枚セット。

ラグナ「よし、いくぞ!」

ハンター「・・・!」ハンター一時封印

ラグナ「よかったー」

危機を回避したラグナ・・・

『ぴぴぴぴぴ』

マリオ「メールだ・・・」エンジェル「フォルミニ迷路内でピーチ確保。のこり11名」・・・まじで?」

ボスパックン「『なお、宝箱はすべて迷路内にある』あー、時間的に無理だな・・・」

リーン「アイテム発見!」

リーン アイテム発見

リーン「無敵サングラス・・・有名だね・・・」

効果、3分間ハンターの仲間と思われ捕まらない。

リーン「まあ、いいけどね」

ジーノ「あ、宝箱だ。中身は・・・ハンターの人形？　へえ、ハンタードールっていうんだ」

効果、捕まった場合、そこから5分以内にハンターか逃走者を捕まえれば復活。

ジーノ「捕まえるって、確保じゃないよな？」

マリオ「また宝箱発見！」

マリオ　二個目のアイテム発見

マリオ「ジェットブーツ・・・ラッキーだな・・・」

効果、合計10分間スピードがかなり上がる。

マリオ「かなり楽になったな」

ワルイージ「残り10秒！宝箱は目の前だ！」

宝箱まで残り80メートル。

ワルイージ「かなりやばい・・・」

残り50メートル、あと5秒。

ワルイージ「ぬおおおおお!!」

残り1秒、アイテム入手。

ワルイージ「な、何とか手に入れた・・・なんだ?逃走データマ
ップ」

効果、自分の近くにいる逃走者やハンターの居場所がわかる。さら
に、ミッションに関係する場所も分かる。

ワルイージ「おお、ラッキー」

しかし、遊園地の事件はまだ終わってはいない。

残り43分

次回、かなりの難ミッションが発令する!

続く

アイテム争奪戦（後書き）

次回は番外編の予定です。

乞うご期待！

年越し番外編 カルタ 開始編（前書き）

1日。更新失敗

2日。パソコン未起動

更新できなくてすいません。

年越し番外編 カルタ 開始編

新年の挨拶。

マリオ「新年！」

カービィ「あけまして！」

ラグナ「おめでとございます！」

ハヤテ「今年も！」

リンク「よろしく！」

霊夢「お願いします！」

ミク「そして！」

ルイージ「2011年も！」

ヒナギク「逃走中を！」

魔理沙「よろしくな！」

年越し番外編。

カルタ

1月2日。

彼らは逃走屋敷に集められた。

そして、これはそんな逃走者・・・今は札取り者である・・・の戦いである。

愛沢咲夜「今からカルタ大会を始めるわ。優勝者には、お年玉がわたされるから。各々頑張つてな」

ハヤテ「いや、咲夜さん、何いきなりはじめてるんですか!」

咲夜「いや、年の初めにひとつやふたつくらい笑いを見せてくれないと悪くはないと思うんやけどな」

ハヤテ「まあ、参加はしますけど・・・何で司会なんてしてるんですか? 観戦もできるはずですが・・・」

咲夜「どうもこうもないわ! ほんとには私も逃走中に出るはずやっただのに!」

ハヤテ「え、す、すいませんでした」

マリオ「まあ、早く始めようぜ」

咲夜「まあ、そうやな」

参加者紹介

マリオ ルイージ カービィ ラグナ

ハヤテ ヒナギク ピット 初音ミク

咲夜「いくでー」

『今こそ勝つぞ グリモアに』」

ラグナ「グリモア!？」

ピット「はい!」

マリオ「とられたか・・・」

ラグナ「まって!グリモアって!」

咲夜「いい忘れたけど、この逃走中や参加者に関連したのが札になるらしいから」

マリオ「次早くしてくれー」

咲夜「そうやな。」

『星の星を守るため 星を渡っていく』

カービィ「僕のだ!はい!」

咲夜「いったん終了やで」

続く

年越し番外編 カルタ 開始編（後書き）

まだ続きます。

あと、なんの関連かはしばしば当てちゃってください。

年越し番外編 カルタ 完結編（前書き）

腰が・・・腰が痛いー！ー！

雑な番外編です。

年越し番外編 カルタ 完結編

さくや「まだまだ続くで！」

ラグナ「『3』の人!？」

さくや「そうやけど」

ラグナ「即答!？」

マリオ「何で変わったんだ？」

さくや「『笑いをじっくり見たいから』だって」

マリオ「は？」

さくや「とにかく行かせてもらっわ。

『常夏の 島でポンプと供に行く』

ルイージ「はい！」

さくや「次や！」

『レインボー!あらゆるところで響く声』

ラグナ「はい！」

さくや「どんどんいくで！」

『アラームの音を鳴らさず解除せよ』

マリオ「はい」

咲夜「ちよつとまてー！」

ハヤテ「さ、咲夜さん、どうしたんですか！」

咲夜「なんやこれ！ 笑いどころか面白くもないやん！ 作者もできの悪さに唾然しとるわ！」

翡翠 煉「はい。すいません」

咲夜「と、いうわけで、この屋敷のどこかにある『究極のハンターたちから脱出せよ』という札を取った人が勝ちや」

さくや「それでは、スタートや」

8人「いくぞー！」

8人はは知らなかった。

まさかその部屋に札があるとは。

カービィ「冷凍室・・・無いか」

ぎい い ばたん

カービィ「しまった！閉じこめられた！」

WORKING 4 巻 71 品め のパクリです。

ミク「ここは・・・遊戯室？」

どさどさどさ

ミク「これは・・・札？」

中にあるかも！」

そのなかには・・・無い・・・

ハヤテ「廊下の壁に飾ってあるとか・・・」

ビィン

ハヤテ「うわっ！」

ロープに引っかった。

マリオ「よし、見つけた・・・ん？」

はずれ。

マリオ「はい？」

ルイージ「あ、ラグナ・・・あった？」

ラグナ「いや、まだ無いよ」

ルイージ「ん、なんかボタンがあるよ」

ポチッ

ルイージ「・・・」

ラグナ「・・・」

2人「うわああああ！」

落とし穴だ・・・

そのとき！

ヒナギク「あ、まさか最初の部屋にあるとか・・・」

正解だ・・・

ヒナギク「そうと決まればその部屋に！」

ヒナギク「この部屋・・・あ」

ルイージ「あ」

ラグナ「ヒナギクさん。先にとっちゃいました」

ヒナギク「やられたわ・・・」

落とし穴の先はこの部屋だった。

咲夜「笑いは少なかったがまあ、しょうがないが、約束は約束や。
ラグナの勝ちや。」

年の初めはラグナの勝ちに終わった。

年越し番外編 カルタ 完結編（後書き）

駄作番外編は終わり！

次回からは本編いくよ！

ミッション2 その1（前書き）

ISアニメ化！

すいません自重します。

・・・新作候補は○○中11作を含む13作！

何が新作としてお披露目されるか！

ミッション2 その1

ミッション2 その1

残り11名。

マリオ「なんか・・・スーツを着た人がたくさん通りかかったぞ」
心配になるマリオ。

マリオ「100体ハンターとかじゃないよな・・・」

そのとき、遊園地の地下にて、ある発明が完成した。

博士「やっと完成したぞ、タイムマシンが！」

助手1「しかし、これでは・・・」

博士「ああ、500キロの重量が必要なんだろ！それはわかつとる」

助手2「じゃあどうするんですか！」

博士「地上において様子を見よう」

『ぽぽぽぽぽ』

リーン「来た！『アースストリートエリアにタイムマシンが置かれた。』」

ワリオ「『ゲーム終了残り30分までにタイムマシンを起動させればゲーム時間が残り20分になる』まじで！」

ワルイージ「『起動させるには、その上に合計500キロの錘もしくは逃走者が乗らなければならない』500キロか・・・」

ジーノ「『急ぎたまえ！』・・・いつてみるか」

ミッション2 タイムマシンを起動せよ。

アースストリートエリアにタイムマシンが設置された。

ゲーム終了残り30分までに500キロ分をのせれば、ゲーム終了残り20分になる。

なお、ホラーパーティーエリアに錘がありそれをのせてもかまわない。

つぎつぎと参加を決める逃走者たち。

ミッションクリアできるのか！

残り39分

つづく！

ミッション2 その1（後書き）

あんま難関じゃない・・・

ミッション2 その2（前書き）

この作品用のミッションすべて完成しました。

ミッション2 その2

ミッション2 その2

ホラーパーティーエリアに置かれている鍾は200キロ、100キロがそれぞれ1個。

50キロが4個。10キロが10個。そして、5キロが20個ある。そこからアースストリートエリアのタイムマシンまでは約300メートル。

このミッションは、120キロのワリオと180キロのボスパックンが鍵となる。

そのボスパックンは、カービィとホラーパーティーエリアに向かっていた。

ボスパックン「カービィ、おまえ何キロだ？」

カービィ「僕は5キロ。まったく活躍できないよ・・・」

ボスパックン「なら俺が持つてくあいだハンター見ててくれ」

カービィ「わかった！」

ワリオ「がつはっはー。おれ様はここにいるだけで活躍できるのだー！」

うるさいワリオ。

そこに
・
・
・

ハンター「……！」

見つかった・・・

ワリオ「早く来いよ……げ、ハンターが来た！」

予想どおりに、ハンターとの距離は縮まっていく。

『ポン』
10名。
アースストリートエリアにてワリオ確保。
残り

ワリオ「なんでつかまるんだー！ー！」

נעלה נעלה

マリオ「メールか・・・って、ワリオつかまるなよ！ミッシェンクリアしにくくなっただろ！」

ジーノ「残り6分……やっとなつた……」

ワルイー ジ「もう時間がないぞ！ 50キロの錘を持っていこう」

そこに・・・

ボスパックン「お、ジーノとワルイージか」

カービィ「僕たちも手伝うよ」

ジーノ「ありがとう。僕たちは50キロの錘を持っていくよ」

ボスパックン「じゃあ俺は150キロもつてくから。カービィ、偵察頼んだぞ」

カービィ「うん！」

4人の合計体重は約230キロ。それに錘を追加すると430キロ。

ちょっと足りない・・・

マリオ「出し惜しみはしない！」

マリオは、羽根を使い迷路から滑空をしてホラーパーティーエリアに向かう。

ちなみに飛行速度は時速約25キロです。

マリオ「いくぜ！」

リン「あ、タイムマシンだ。誰か来たら合流しよう」

隠れて参加しようとしていた・・・

のこり34分

6人の体重と錘の合計は505キロ・・・

このままいけばミッションクリア・・・

ミッション終了まで残り4分・・・

続く

ミッション2 その2（後書き）

ミッション参加者の体重

ボスパックン	180キロ
カービィ	5キロ
ワルイージ	30キロ
ジーノ	15キロ
マリオ	55キロ
リン	20キロ

ミッション2 その3（前書き）

裏切りもの投票のやつ。

一票でも入ったら裏切り者。

裏切り者大量発生。

そんなことはしないと思う。

ミッション2 その3

ミッション2 その3

ミッション終了まで残り3分。

4人は錘を運んでいた。

ボスパックン「よし、あと150mくらいか?」

ワルイージ「お、カービィ、あの曲がり角の右に誰がいるぞ」

アイテムの効果は・・・中途半端である・・・

カービィ「ちょっと見てくるよー」

カービィ「あ、クツパ!」

クツパ「あ、カービィか。ミッションか?」

これまたミッションに有利なクツパだ・・・

(150キロ)

カービィ「協力してくれる?」

クツパ「ああ」

リーン「あ、ドンキー」

そのころ、タイムマシンの近くに、ドンキーが現れた。

ドンキー「あ、リーン。どうかしたか？」

リーン「ミッションですか？」

ドンキー「まあな」

そこに近寄る黒い影・・・

ハンター「・・・！」

見つかった・・・

ドンキー「来ると思うか？」

リーン「期待しま・・・ハンター！」

近くまで、接近を許してしまった・・・

リーン「サングラス使用！」

リーンはサングラスをして難を逃れる。しかし・・・

ドンキー「俺はどうすればいいんだよ！」

アイテムも無いドンキー

『ポン』 アースストリートにてドンキーコング確保 残り9名

『ピピピピピ』

マリオ「メールか。あ、ドンキー捕まった」

ヨッシー「残り9人・・・一桁ですか・・・まあ、6人しか捕まっています」

カービィ「残り2分！」

ボスバクン「早く行くぞ！」

マリオ「よし、もうすぐ着くぞ！」

20キロの錘を運ぶマリオ。

リン「お願い・・・早く誰か着て・・・！ 来た！」

ワルイージ「残り30m！いけるぞ！」

ジーノ「あ、おい、リン。手伝ってくれー」

リン「はい！」

マリオ「あ、みんな！　そんだけあればミッションクリアできるぞ！」

カービィ「マリオ！　どうして空飛んでるの？」

マリオ「アイテムだ！」

7人がタイムマシンの上にのり、重さは500キロオーバー。

ミッションクリア。

ミッションをクリアしたため、残り31分02秒から、20分になる。

博士「タイムマシンがちゃんと動いたようじゃの・・・」

助手1「ええ。博士、おめでとうございます！」

博士「ああ、だが、これであのタイムマシンが使い物にならなくなってしまったの」

助手2「そうですね」

博士「だがそれでいい。また別なことの研究に没頭するでしょう」

助手1　2「はい！」

その後彼がノーベル賞を取るらしいがそれは別の話。

しかし、このタイムワープが、逃走者を苦しめることになる。

ゲーム終了まで残り19分

続く

ミッション2 その3（後書き）

次回、ファーストステージ最後のミッションが始まる！

復讐の犯罪者 序章（前書き）

しばらくちょっとしたストーリーで進行します。

復讐の犯罪者 序章

復讐の犯罪者 序章

『ピピピピピ』

ラグナ「メールだ。『ミッション2結果』」

ヨッシー「『マリオ ジーノ ワルイー ジ クッパ ボスパッケン
カービィ リーンの活躍によりミッションクリア』 ほとんど参
加していますね」

マリオ「『これにより、約10分間ゲームの時間が縮まった』よし。
このまま全員逃げ切るぞ！」

マリオ以外の6人「『……』 おう！」「……」

牢獄トーク

ルイー ジ 「結局すぐ捕まっちゃったから参加できなかった。面白そ
うなミッションだったのになー」

ピーチ「でも欲を張るもんじゃないわよ」

ワリオ「そうだな」

ドンキー「まあ、とにかく、捕まるとやっぱつまらないからな」

デデデ「そうだデ・・・」

東エリア

ハヤテ「にしても、今回のミッションは少し難しいですね」

魔理沙「ああ、なんか知らんがミッションの感覚が変だ」

リンク「と、いうと？」

魔理沙「いつもより変に凝ってるんだよ」

ミク「そろそろミッション来るんじゃないでしょうか！」

客1「わっ！いつの間にか時間が過ぎてた！」

客2「待ち合わせしてたのに！」

客3「コンサート始まっちゃうよー！」

スタッフ1「観覧車とスターラインシューティングをはじめとする
多数のアトラクションに異常発生！」

スタッフ2「ええい！すぐに復旧させろ！」

タイムワープしてしまったことにより、混乱する客とスタッフ。

そしてそのときを狙うとある集団。

集団員1『団長！　今こそあの遊園地に復讐するべきです！』

団長『ああ、まずはジャングルクルーズをのつとれ！』

集団員1『はい！　了解しました！』

団長『十分混乱させたら、花火をあげる。それで最初は終わりだ』

ジャングルクルーズ

スタッフ『うわー！　皆さん、お静かにー』

客4『なんだよ、このアトラクション乗ってたのに！』

客5『こつちなんて30分並んでたんだぞ！』

スタッフ『は、はいー！　今すぐ復旧させるのでしばらくおまちをー！』

狂った船の上には、計20体のハンターが乗っていた・・・

残り16分

次回、悪夢の序章の幕が開く・・・

続く！

復讐の犯罪者 序章（後書き）

ミッションに入れなかった。

次回はいかに！

西エリア残り逃走者

マリオ

クッパ

ヨッシー

ジーノ

ワルイージ

ボスパッくん

カービィ

ラゲナ

リン

計9名。

ミッション3 その1（前書き）

今回は多分長めに書いてみました。

ミッション3 その1

ミッション3 その1

『ピピピピ』

マリオ「たぶんまたミッションだよ・・・まだ4分しかたつて無いじゃんか・・・」

カービィ「えーっと？ 『ミッション3 ジャングルクルーズのアトラクションが何者かにより使用不可になってしまった』」

リン「『そして、残り11分から3分ごとにハンターを開放していく』していく？」

ボスパクン「『残り11分に2体。残り8分に3体。残り5分に5体。そして、残り2分に10体のハンターを解放する』・・・まじで？」

ヨッシー「『止めるには、ミッション1で使わなかった花火を使い、花火をあげる』」

クッパ「『尚、花火をあげるには、二人同時にレバーを下げなければならぬ』」

ミッション3

アトラクションを開放せよ

ジャングルクルーズが何者かにより使用不可になった。

このままだと、残り11分にハンターが解放され始め、残り2分には計20体のハンターが解放される。

とめるには、二人でレバーをさげて、花火をあげなければならない。

尚、花火を持っているのは、ワルイージ、ヨッシー、クッパ、リーンの4人。

あと、ミッション1の時に言い忘れたが、開放されたハンターはセカンドステージに引き継がれる。

東エリア

魔理沙「そういうことはちゃんと覚えよ！」

ハヤテ「皆さん・・・頑張ってください・・・」

祈る東エリアの逃走者。

あと、頑張れって言うのは無責任だから使うときは注意してね。

西エリア

ヨッシー「ジャングルクルーズの近くにいたから花火はセットできましたけど・・・」

花火をセットしたが、近くには誰もいない。

ここから一番近いのは、前のミッションに参加した7人。

その中でも多少近いのは・・・

マリオ「走るか？」

マリオと・・・

リン「ちょっと急ぎましょう！」

リンだ・・・

クッパ「まあ、マリオたちなら安心してミッションを任せられるな」

ワルイージ「そうだな」

他人任せ・・・いや、仲間を信頼しているのかもしれない2人。

その近くに・・・

ハンター「・・・」

ハンターだ・・・

しかしお互い、まだきずいていないようだ。

クッパ「そろそろ残り3分か・・・」

ワルイージ「そうだ・・・！クツパ、ハンターだ！」

いち早くハンターにきずいたワルイージ。しかし・・・

ハンター「・・・！」

見つかった・・・

クツパ「逃げろー！」

ワルイージ「あ、ああ！」

逃げる二人。しかし・・・

ワルイージ「うおっ！」

ワルイージが転んでしまった。

『ポン』 アースストリートエリアにてワルイージ確保。 残り
8人。

ワルイージ「逃げろクツパ！」

しかし、クツパの足で逃げれるわけがなく・・・

『ポン』 アースストリートエリアにてクツパ確保 残り7人。

クツパ「やっぱり捕まったか・・・」

『ピピピピ』

ヨッシー「メールですね。『アースストリートエリアにて、ワルイ
ージ、クッパ確保。残り7人』・・・二人もですか！」

残り13分

ミッシヨン3ファーストハンター開放まであと2分。

花火はすでにセットされており、あと一人がここに来ればク
リアとなる。

続く！

ミッション3 その1（後書き）

もうすぐファーストステージ終了です。

多分あと3話くらい？

ミッション3 その2

ミッション3 その2

現在ミッション3が進行中。

残り3分でハンターが放出される。

それを阻止するには、現在、レバーの前にはヨッシーがいるうえ、花火がすでにセットされてるので、誰か一人でもここにこれればミッションクリアになる。

そのミッションに向かう逃走者はマリオとリーン。

マリオ「もうすぐつくかな？」

リーン「そうですね」

ハンターに遭遇せず、ゆっくり進む二人。

ジーノ「マリオたち大丈夫かな？」

心配な人形・・・

そこに・・・

ハンター「……」

ハンターだ……

しかし、ハンターはまだきずいてないようだ……

ジーノ「マリオたち以外にもミッションやっている人いるのか……
って、ハンター！」

運よくハンターを見つけ、そこから離れるジーノ……

ジーノ「危ないよ……」

ヨッシー「誰もこないな」

暇そうにしている恐竜……

マリオ「あ、ヨッシー！」

リーン「ヨッシーさん！」

そこにたどりついた二人……

ヨッシー「あ、マリオさん。リーンさん」

マリオ「さて、おろすか。リーン、花火入れてくれ」

ヨッシー「あ、もう入れましたよ」

マリオ「そうか。せっかくだから、3人で下ろそう」

『ガチャ』

ミッションクリア。

ハンターの放出は無い・・・

客4『おい、早く入れろ!』

客5『こっちは客だぞ! ちゃんと納得のいく理由を話せ!』

スタッフ『あ、お、落ち着いてください・・・あ、はい、・・・そうですね!』

客4『何勝手に話してるんだよ!』

スタッフ『皆さん! 復活しました! どうぞお入りください!』

こうして、騒ぎは何とか最小限に収まった。

しかし、これを快く思わないのが・・・

団長『・・・早くないか?』

集団員1『確かに・・・それだけ楽だったんでしょ。もう戻し

たようです』

団長『まさか・・・ナ・・・』

集団員1『どうしたのですか？』

団長『いや、なんでもない』

集団員2『大変です！』

団長『どうした！』

集団員2『どうやら遊園地で逃走中をやってるようです！』

団長『そうか・・・なら、逃走中も一緒に潰せ！』

集団員2『はい！』

団長『逃走中か・・・』

集団員1『どうしましたか？』

団長『いや、なんでもない』

『びびびびび』

ラグナ「メールだ・・・」『ミッション結果。』

ジーノ「『マリオ、ヨッシー、リーンの活躍によりミッションクリ

ア。『よかったー』

ボスパックン「『これによる、ハンターの増減は無い。』ふう。あ
とは逃げるだけだろう」

残り10分

遂にファーストステージラストスパート！

はたして、セカンドステージにいける逃走者は誰なのか！

続く！

ファーストステージ完結！

ファーストステージ完結！

ゲーム終了10分を切り、逃げ切りが見えてきた逃走者たち。

しかし、彼らに安息の時間などない・・・

マリオ「やつと10分きつたか・・・」

じつは、アイテムを使えば必ず逃げ切ることができる。

しかし、アイテムはセカンドステージでも使えるため残しておきたいのである・・・

それで迷うマリオ。

リン「逃げ切ろう。うん」

残り時間が短くなり、逃げ切りを狙うリン。

ヨッシー「あともう少し・・・」

時間が少なくなり緊張しだすヨッシー。

三者三様の考えだ・・・

ジーノ「もうすぐで終わる・・・」

ラグナ「そうだね・・・」

この二人も緊張しだす・・・

ボスパックン「カービィ、もう逃げ切れるよな！」

カービィ「きっと、逃げきれよ」

自信を持ち直す二人・・・

ゲーム終了まで残り3分を切り、7人の逃走者は隠れる。

マリオ「よし、もうすぐだ」

リン「ハンター来ませんよね・・・」

ヨッシー「マリオさんアイテムあるからって気楽でするんですよ・・・」

ジーノ「もうすぐだ・・・」

ラグナ「セカンドステージも頑張りましょうね」

カービィ「ボスパックン！ 多分もう逃げ切ったよ！」

ボスパックン「できれば多分はとってほしかったな・・・」

ゲーム終了まで後20秒・・・

20

19

18

17

16

マリオ「よし！ もう来たぞ！」

逃げ切りを確信するマリオたち。

15

14

13

12

1
1

ラグナ「逃げ切った！　　って、ここでハンター！？」

ラグナたちはにげるが、この時間と距離があれば逃げ切れるだろう。

1
0

9

8

7

6

カービィ「やった！」

カービィたちも確信しただろう。

5

4

3

2

1

0

逃走中ファーストステージ逃走成功者。

マリオ

ジーノ

ヨッシー

ボスバッキン

カービィ

ラゲナ

リン

この7人と東エリアの15人。計22人がセカンドステージに挑む！

続く！

ファーストステージ完結！（後書き）

次回セカンドステージ突入！

セカンドステージスタート！　そして現れる恐怖の敵・・・（前書き）

恐怖の敵は・・・そう、あれです。

あと、メールの音を変更しました。

セカンドステージスタート！　そして現れる恐怖の敵・・・

セカンドステージが始まるまで後30秒。

22人の逃走者はエリアに散らばった・・・

そして、東エリアにて逃走中が始まる。

エリアは、

コスモシップ

レインボーコースター

オーロラハウス（建物内進入禁止）

コスモゴーランド

スタープラネットタウン

ミニコスモステーションタウン

の6つで構成されている。

そして、ハンターは引き続き3体。

さらにここから1秒100円となる。

5

4

3

2

1

スタート！

ゲーム終了残り110分・・・

マリオ「遂にセカンドステージだ！」

ピット「やっと僕たちも参加できます！」

ハヤテ「始めました・・・」

ゲームが始まり、意気込む逃走者・・・

しかし、ゲームが始まれば、ハンターも動き出す・・・

アイク「・・・肉はどこだ・・・」

肉を捜すアイク。そこに・・・

リュカ「あ、アイクさん」

リュカだ・・・

アイク「リュカか」

リュカ「アイクさん、頑張りましょう!」

アイク「ああ!」

そして、リュカと別れた。

アイク「さてと、肉は・・・」

『ピコン!』

アイク「ん? もう誰か捕まったのか?」

マリオ「『通達2』」

ミク「『これよりゲーム終了残り105分まで、ある役職を与える募集を行う。それは・・・』・・・まさか!」

ヒナギク「裏切り者である。』やっぱりきましたね」

カービィ「裏切り者とは、別の逃走者の居場所を本部に密告するひとのことだ』分かってるよ・・・」

霊夢「それにより一人捕まることに10万のボーナスが与えられる。しかし、つかまればボーナスも没収される』リスク高いわ・・・」

「

裏切り者の募集が始まったのは残り時間107分。

2分以内に募集者は来るのか・・・

『ぴぴぴぴ』

本部「・・・貴方は・・・?」

???「〇〇〇です・・・裏切り者になります」

本部「分かりました・・・」

このとき、逃走者に敵が現れた・・・

それは・・・

22人の中にいる!

『ピコンン...』

マリオ「『通達2結果・・・』きたか」

ポポ「『裏切り者が現れた！』え！」

裏切り者「『裏切り者は22人の誰かなので気をつける』・・・悪いな・・・全員捕まえさせてもらっよ・・・」

ゲーム終了残り104分

次回、ミッション4始動！

続く！

セカンドステージスタート！　そして現れる恐怖の敵・・・（後書き）

『裏切り者を予想しろ！』クイズを開始します。

裏切り者を予想して当てた人が一人でもいた場合、ゲーム残り60分ごろに裏切り者の場所がハンターに通達されます。

尚、確保者含む逃走者（裏切り者以外）は残り85分から1分間だけ募集して、皆さんは、残り時間80分をきった話が投稿された時点で締め切りです。

暗躍の裏切り者（前書き）

裏切り者を予想するさいはついでに感想などもお願いします！

そしてミッションはやはり始まらない・・・

暗躍の裏切り者

暗躍の裏切り者

ゲーム終了残り103分。

裏切り者が一人いる。

そう、裏切り者がエリアにいるのだ。

はたして22人の中で裏切り者は誰なのか・・・

ポポ「案外腕に鎖がつけられるってきついな」

アイスクライマーの二人には、腕にそれぞれをつなぐ鎖があり、二人で行動しなければならない。

その代わり、二人同時にレバーをおろせなどのミッションには、アイスクライマー一組で二人分おろせれる・・・

尚、アイテムは（無敵サングラスなど）一人がつければもう一人も有効となる。

ナナ「とにかくさくつと逃げ切りましょう!」

リユカ「あー、怖いな・・・」

裏切り者とハンターに怖がるワーグナーさんの最初の逃走中での裏切り者・・・

そこに・・・

裏切り者「リュカ、コスモゴーランドエリアにいます」

ハンター「！」

リュカ「ハンターこないで・・・来た！」

遠くのハンターにきずいた・・・

しかし、背後にも・・・

ハンターだ・・・

ハンターの距離はそれほどなく・・・

『ポン』 裏切り者通報によりコスモコースターエリアにてリュカ確保 残り21人

リュカ「絶対裏切り者だよ・・・」

裏切り・・・された・・・

『ポン』

マリオ「メールだ・・・リュカが裏切り者にか・・・」

マルス「え、リュカ裏切り者じゃないの!」

疑われていたようだ・・・

残り100分きり、賞金は24万円を超える・・・

そして、謎の集団は・・・

団長『遊園地と逃走中を同時に潰すには、爆弾がてつとり速いか・・・』

集団員1『はい、分かりました!』

団長『だが、少し逃走者にチャンスをやろうか。

解除する方法をひとつ準備して少し時間を遅れさせて爆発させる!』

集団員1『はい!』

団長『お前は復讐なんて望んでないことは知っている。だがこれは俺の問題なんだ・・・（小声）』

こうしてエリアの北部に爆弾が置かれた・・・

残り99分

次回、ミッション4が本当に始動！

続く！

暗躍の裏切り者（後書き）

次回もお楽しみに！

ミッション4 その1（前書き）

爆弾を使う際は、誤爆に注意しましょう。

というか、使わないでください。

スタッフ一同より。

ミッション4 その1

ゲーム終了100分を切り、ゲームの難易度が上昇していく！

『ピコンー！』

マリオ「メールか・・・何何？」『ミッション4』 来たか！」

ラグナ「『エリアの北部のどこかに爆弾が仕掛けられた』 え！」

ネス「『ゲーム終了残り85分になると爆発。その北部が使えなくなる。』 ここ、壊されるの？・・・」

ピット「『阻止するには、パスワードを入力しなければならない。』」
「

霊夢「『尚、パスワードはコスモシップとコスモゴーランド、レイ
ンボーコースターに書いてある。』 見に行けてこと？」

ミッション4 エリア縮尺を阻止せよ。

エリアの北部のどこかに爆弾が仕掛けられて、ゲーム終了残り85分に爆発し、エリア封鎖となる。

阻止するには、3つのライドアトラクションに書かれた数字を爆弾に入力しなければならない。

また、入力する数字を間違えたら、その時点で爆発となる。

尚、北部とは、コスモシップ、コスモゴーランド、ミニコスモステーションタウンを指す。

そして、爆発したときに、エリアに残っていれば、もちろん強制失格となる。

ミク「えっと・・・ここは・・・」

オーロラハウスの近くにいる・・・しかし・・・

ミク「あのレールって・・・」

レインボーコースターの通るレールだ・・・

ミク「見えたらマリオさんとかに教えよう・・・でも、マリオさんが裏切り者だったら・・・」

そう・・・番号を教えるというのは、自分の居場所を教えるようなものなのである・・・

リンク「あー、みつけた！ コスモシップだ！」

パスワードが書かれているライドを見つけた・・・しかし・・・

リンク「あれ、どこだ？」

外から見たらどこにもない・・・

そう、コスモシップのみは船の中に書いてあるのだ！

リンク「どうやってみればいいんだ？」

スネーク「爆弾か・・・」

ミニコスモステーションタウンにいるスネークは、爆弾を見つけた・
・

スネーク「これだけ大きい爆弾なら、誰かが見つけてもいいはずだが・・・

そう、爆弾は約10キロあり、ミッション2のタイムマシンの半分ほどの大きさがある・・・

じつは、この爆弾には認識障害がかかっており、逃走者以外には見えないようになってるのだ。

スネーク「解除してみるか？・・・いや、無駄な賭けはやめよう」

ゲーム終了残り93分

ミッション終了まで後8分

逃走者は爆弾解除できるのか！

続く！

ミッション4 その1（後書き）

先に言います。

コスモシップに乗るには、チケットがひとつようで、チケットは、作者とマスターハンドとクレイジーハンドが持っています。

ミッション4 その2

ゲーム終了まで残り93分

ミッション終了までは後8分

そして、逃走者は爆弾を解除できるのか！

マリオ「あ、コスモゴランド！ パスワードは・・・7か・・・ん？」

マリオは、数字のしたをよく見た。

マリオ「えっと・・・『スタープラネットタウンゲームコーナーの中にミッションクリアの鍵がある』か・・・よし、行ってみようか！」

しかし、その近くに・・・

ハンター「・・・！」

見つかった・・・

マリオ「ヒアウィゴー！」

しかし、マリオは靴を使い、秒速200メートルくらいで進む。

ハンター「・・・（ええええええ！？）」

ハンターも心の中で驚いたようだ・・・そして・・・

マリオ「えええええ!?!」

無論・・・本人も驚いている・・・

しかし、およそ1分程度でゲームセンターについた。

マリオ「靴すげえ・・・」

驚きが・・・隠せない・・・

マリオ靴残り使用時間残り542秒

霊夢「あ、ピカチュウ・・・だっけ?」

ピカチュウ「うん。そうだよ・・・」

名前を覚えてもらえず落ち込むピカチュウ。そこに・・・

裏切り者「ピカチュウ、霊夢、レインボーコースターエリアにいます。

ハンター「・・・!」

ハンターが二人に襲い掛かる!

霊夢「ミッション行く?」

ピカチュウ「うん。だからここに・・・！ハンターだ！」

霊夢「嘘！」

二人に2体のハンターが確保に来た。

ピカチュウ「速く逃げよう！」

霊夢「は、はい！」

しかし、周りに障害物がなく、簡単に距離が縮まっていき・・・

ピカチュウ「うわ！」

『ポン』 裏切り者通告によりレインボーコースターエリアにて
ピカチュウ確保 残り20名

霊夢「きゃ！」

『ポン』 裏切り者通告によりレインボーコースターエリアにて
霊夢確保 残り19名

ピカチュウ「これは厳しいよ・・・」

霊夢「逃げ切りたかったのに・・・」

『ピコンー！』

ピット「あ、メールだ・・・また裏切り者・・・こんどは二人も」

魔理沙「これでやつは30万か・・・」

裏切り者「・・・どどんやっていこう!」

マリオ「あ、ヒナギクか」

ヒナギク「マリオさん。どうしたんですか？」

マリオ「コスモゴーランドにいたらここに鍵があるって書いてあったんだ」

ヒナギク「そうなんですか。私はマスターハンドって言う人?に、ここにチケットを捨てたって聞いたから・・・」

煉「あ、俺それ拾ったぞ」

ヒナギク「あ、愚作者」

マリオ「おい、いきなりそんなこと言うなよ」

ヒナギク「冗談よ。ところで、それ譲ってくれない？」

煉「いいけど・・・でもちよつと頼みがあるんだが・・・」

マリオ「難だ？」

煉「それは・・・」

果たして頼みとは何なのか？

ゲーム終了残り90分

ミッション終了まで残り5分

残り逃走者も20人を切り、ミッション終了も近づく中、ミッションクリアできるのか！

続く！

ミッション4 その3

ミク「あ、7だ」

レインボーコースターの番号を見たミク。

ミク「北へ向かう」

しかし、このときミクは、後に逃走者たちを苦しめる存在を見逃していた・・・

マリオ「で、頼みって？」

煉「えっと、UFOキャッチャーで、ライトノベル栞12枚交換券つきハンタードールをとってくれない？ もう500円つかっちゃって」

マリオ「・・・」

ヒナギク「・・・」

マリオ「さて、『冗談はここまでにしる」

煉「えっと・・・実は盗まれちゃった。しかも犯罪なれしてる人に」

ヒナギク「・・・で？」

煉「実は、それにチケットがついてるから。とってもらおうかと・・・

・
」

マリオ「・・・まあ、それなら早くやっちゃおう」

ヒナギク「ええ」

煉「ありがとう。ハンター来たらしいから」

マリオ「取れたぞ」

煉「速い！」

マリオ「はい券」

煉「あ、ありがとう・・・」

マリオ「じゃ！」

ヒナギク「愚作者」

煉「愚作者言うな」

ヒナギク「ハンタードールにした理由は？」

煉「どうぞ・・・」

ヒナギク ハンタードール獲得

マリオ「よしついた！」

靴残り511秒

スタッフ「本日はチケットが必要ですが・・・」

マリオ「はい」

スタッフ「どうぞ」

船に乗るマリオ

マリオ「さてと・・・また7かよ！」

スタッフ「ちゃんと座ってください」

マリオ「メールするか・・・」

メールを打ち始めたマリオ・・・

ミッション残り2分

『ぴぴぴぴ』

ミク「メール！ クリアした！？」

『マリオからのメール。』

コスモシップとコスモゴーランドのパスワードは両方7だった。

多分俺はもうこのミッションに参加できないから頼んだ」

スネーク「！・・・あとはレインボーコースターだけか・・・諦めるなら今すぐ逃げなければ・・・」

ミク「あ、あつた！」

スネーク「ミクか！ 番号は！」

ミク「コースターも7！」

スネーク「入力する！ 777！」

爆弾についていたランプが消えた・・・

ミッション4クリア

スネーク「これでクリアのはずだ」

ミク「よかった・・・」

団長「解除されたか・・・まあよい」

集団員1「いいのですか？」

団長『まあな。無関係の人を巻き込む気はなかったし』

集団員2（じゃあなんで爆弾を・・・）

団長『まあ、次で決めるぞ。例のあれを用意しろ！』

『はい！』

集団員3『団長・・・1年前のことをまだねたんでいるのですか？

いくらここで行われた逃走中で彼女が殺されたとしても・

・・・』

団長『その話はするな』

集団員3『・・・はい』

『びびびびび』

ミク「きました『ミッション4結果』」

マルス「『スネーク、初音ミクの活躍によりミッションクリア。エリア縮尺はない』良かった・・・」

裏切り者「爆弾の場所はあるところから・・・」

スネーク、初音ミク。ミニコスモステーションタウンに
います。

マリオ、コスモシップに乗っています」

密告された3人！果たして3人の運命は！

ゲーム終了まで残り85分

続く！

間奏

ゲーム終了85分を切り、残りの逃走者は18名となった。

マリオ「うおおおお！」

ハンター「!・・・」

靴を使いハンターを撒いたマリオ・・・

ミク「ミッションクリアできてよかったです・・・」

スネーク「ああ、そうだな・・・」

しかし、ハンターが・・・

スネーク「しばらく休む・・・! ハンターだ!」

ミク「え!」

二人は逃げている。

ミク「きゃあ!」

転んでしまった・・・

『ポン』 裏切り者通報によりミニコスモステーションタウンにて
初音ミク確保 残り17名

ミク「あーあ・・・ スネークさん！ 逃げてください！」

スネーク「無理だ・・・ 前からもハンターが・・・」

『ポン』 裏切り者通報によりミニコスモステーションタウンにて
スネーク確保 残り16名

スネーク「無理だろ・・・」

『ピコン！』

マリオ「メールか・・・ なに！ ミクもスネークもつかまった
と！」

アイク「裏切り者か・・・」

ポポ「ん？ まだ続きがあるぞ」

ヒナギク「『通達3』 えつと・・・」

魔理沙「『すでに裏切り者は50万を手に入れている』 まあ、そう
だな」

ルカリオ「『そこで君たち裏切り者以外には1分以内に裏切り者だ
と思う人をメールで送ってほしい』」

ネス「『なお、間違えたり、送らなくてもリスクはない』じゃあ、送ってみようかな・・・」

ルイージ「『尚、予想は確保者も可能!』みんな、考えよう!」

マリオ「アイク・・・かな? 送信!」

ジーノ「アイスクライマーかな? はい!」

ヒナギク「この人かな?」

アイク「ハヤテってやつかな?」

マルス「リンクかな?」

牢獄では・・・

ピカチュウ「アイクだよ!」

ワリオ「マリオだな。そして裏切り者でなくてもばこってやる」

スネーク（まさか・・・爆弾を見に来たあいつか・・・）

そして、残り82分・・・

予想クイズは終了した・・・

予想されたのは・・・

マリオ ボスパックン ラグナ ハヤテ ヒナギク リンク アイ
ク アイスクライマーの8名

この中に裏切り者がいる！

残り81分

次回！ 裏切り者が明らかに！ そして、ミッション5も始
動！

続く！

ミッション5 その1

ヨッシー「ここなら安全ですか？」

オーロラハウス裏にいるヨッシー。

裏は、フェンスで囲まれており、人一人やつと通れる程度の広さである。

しかし・・・

裏切り者「ヨッシー、オーロラハウスの裏にいます」

密告された・・・

ヨッシー「？ いま誰かいたような・・・」

『ピコン！』

裏切り者「お、捕まったか？」

マリオ「『通達3結果』いまさらか・・・」

ルカリオ「裏切り者は・・・マリオ、ボスパックン、ラグナ、ハヤテ、ヒナギク、リンク、アイク、アイスクライマーの8名のうち

の誰かだ』私は入っていないようだな・・・よかった」

アイク「ん？『通達4』？」

カービー「『現在賞金単価が1秒200円となったので、ハンターを1体解放する』え？」

『プシューー』

スタープラネットタウンからハンターが1体開放されハンターは4体となった。

ヨッシー「ハンターが開放された・・・」

しかし、目の前にもハンターが・・・

ヨッシー「あ、ハンター！」

後ろへと逃げる。しかし・・・

ハンター「！」

見つかった・・・

ヨッシー「は、挟み撃ちですか？」

『ポン』裏切り者通報によりオーロラハウスにてヨッシー確保残り15名

『ピコン!』

裏切り者「遂にきたか!」

マリオ「ヨッシーつかまった・・・」

アイク「また裏切り者か・・・」

牢獄トーク

ミク「裏切り者はもう60万も獲得しているなんて・・・」

霊夢「早くつかまってほしいわ・・・」

ピカチュウ「ん?あれは?」

確保者が見たのは、ハンターとは少し違う黒服の男たちが何かを運んでいたのだったのであった・・・

ルイージ「あれは・・・」

マスター「よう、おまえら」

ルイージ「ま、マスターハンド!」

マスター「お前らちよつと避難しろ」

ルイージ「はい？」

マスター「テレポート！」

確保者「わああああ！」

牢獄の中には、もう誰もいない・・・

これまで6人を密告した裏切り者

裏切り者は・・・

リンク「やつと60万か・・・」

リンクだ・・・

リンク「これくらいの賞金で・・・まだボーナスふくんで100万もない」

そのころ・・・エリアのオーロラハウスの中には・・・

団長『準備は整ったか？』

集団員1『はい、まだ運んでいる途中ですが、もう始められます！』

団長『そうか・・・』

集団員1『もう始めますか？』

団長『ああ、そうだな・・・』

集団員1『でも団長・・・どうしてこんなことをしているんですか？』

団長『復讐・・・さ』

集団員1『そうですか・・・』

団長（ライナ、お前は今、なにを思っているんだ？）

集団員1『団長、毒ガス放出を始めます！』

団長『頼んだぞ！』

客1『なにあれ？』

客2『おい、あれって・・・』

客3『毒だ！ 逃げろー！』

スタッフ『皆さん！ 落ち着いてください！』

一気に混乱に陥った遊園地・・・

『ピコン！』

マリオ「なんだ？ また誰かつかまっただのか？ ん？ ミッション5？」

魔理沙「『ミッション5』来たぜミッション」

アイク「『現在、エリアには毒ガスが撒かれている』毒ガス！？」

ジーノ「『残り70分になるまでに安全なオーロラハウスに入らなければ体に毒が回り強制失格となる』やばくないか？」

ピット「『急ぎたまえ！』って、急がないと！」

ルカリオ「『なお、ボスパックンやルカリオなどにも効くので二人とも安心しないように』ですよね・・・」

ミッション5 安全なところへ避難せよ！

ゲーム終了まであと76分。

現在エリアに毒ガスが撒かれている。

ゲーム終了残り70分までに安全なオーロラハウスに入らなければ
強制失格となる。

ゲーム終了まで残り76分

遂に始まる謎の集団との最終決戦！

続く！

ミッション5 その2（前書き）

遂に始まる謎の集団との最終決戦！

よくかんがえたら、靴がチート過ぎますね。

ミッション5 その2

ゲーム終了まで残り76分。

さらに、ミッション5終了まで後6分。

4対のハンターがエリアを徘徊する中、ミッション5終了までにオーロラハウスに入らなければ強制失格となる。

当然、毒は今からも逃走者に響く。

ジーノ「く・・・苦しい・・・」

ハヤテ「皆さん・・・大丈夫でしょうか・・・」

魔理沙「く、なかなか強い毒だな・・・」

ピット「これくらい・・・平気です・・・」

ルカリオ「これが・・・毒ですか・・・」

そして、毒の脅威はハンターにも・・・

ハンター「・・・！」

ラグナ「み……見つけた……やばい……」

ラグナは、ハンターから逃げるものの、あまり距離はひるまらない。

しかし……

ハンター「……」

ハンターもなかなか差を縮められない。

サイボーグとはいえもともと人間なのだ。

ラグナ「よし！ オーロ・ラハウスだ！」

ラグナ ミッションクリア

ハンター「……！」

ハンターが次に見つけたのは……

マリオ「行くぜー！ー！」

靴で移動するマリオ。

当然ハンターが反応できるわけがない……

マリオ ミッションクリア

ボスパックン「く、苦しい・・・」

当然、ボスパックンも平等に苦しむ。

ボスパックン「そういえば・・・ おれ、中に・・・入れるのかな？」

ポポ「ナナ・・・ついたよ・・・」

ナナ「う、うん」

アイスクライマーの二人も何とか入り口にたどり着く。

アイスクライマー ミッションクリア

ネス「ピットさん！大丈夫ですか？」

ピット「ネスさん・・・なんで大丈夫なんで・・・すか？」

ネス「PSIでなんとか・・・」

ピット「つかって・・・いいの？」

ネス「作者に聞いたところ、自分にのみ3回までと・・・ピットさんすいません」

ピット「べつに・・・いいよ、頑張ろうね・・・」

ネス「は、はい！」

アイク「早く・・・いかないと・・・」

曲がり角を曲がるアイク。

ハンター「・・・！」

遭遇した・・・

『ポン』 レインボーコースターエリアにてアイク確保 残り1
4名

アイク「終わった・・・」

アイクはマスターのレポートでマスターのところへ連れて行かれた・・・

逃走者を苦しめる毒。

この先どうなるのか！

ゲーム終了まで残り73分

続く！

ミッション5 その3

ハンター「・・・」

ハンター 起動能力

52

51

50・・・

起動値が50以下になりました。

この場所を危険と判断しました。

至急、危険エリアからの撤退を始めます。

『ピコンー!』

マリオ「メールだ・・・誰か捕まったのか?」

ポポ「アイク確保。残り14名」

ナナ「また、通達5」

カービー「えつと・・・『ハンターがこのエリアにいると危険と判断したため、1分後にすべてのハンターがエリアから撤退する』」

ルカリオ「『なので頑張ってくれ』これは大きいですね・・・」

リーン「う・・・もう、無理・・・自首しよう・・・」

ちょうど近くにある電話ボックスを見つけたリーン。

リーン「さすがにもう限界です・・・」

しかし、その近くに・・・

ハンター「・・・！」

見つけた・・・

リーン「・・・よし、やっとかかった・・・」

ハンター「・・・」

ハンターはリーンに近づいていく。

リン「リン。自首……します」

リン自首	ゲーム終了残り72分35秒	449000円
獲得		

リン「何とかここまでできました…… あ……ハンターが近く
にいた……」

リンはマスターのワープで移動させられた。

『ピコンー！』

ルカリオ「メールですね……自首情報！」

マリオ「リン自首成立449000円獲得。	残り13名
----------------------	-------

ハヤテ「やっとうきましたね……」

ハヤテ ミッションクリア

マルス「僕も自首しようかな……」

自首にゆれるマルス・・・

しかし・・・

ハンター「・・・！」

見つかった・・・

マルス「いや、まだ自首はやめよう・・・」

まだきずいてないようだ・・・

マルス「早く走って・・・」

『ポン』 スタープラネットタウンエリアにてマルス確保
残り12名

マルス「ハンターいたのか・・・」

彼もワープで移動された・・・

それと同時に・・・ハンターも撤退した・・・

魔理沙「みんな、やっとついたぜ・・・」

ピット「疲れた・・・」

ネス「早く入りましょう！」

カービィ「そうですね・・・」

ヒナギク「もう、毒なんていや・・・」

魔理沙 ピット ネス カービィ ヒナギク ミッションクリア

リンク「密告したかったが・・・仕方ない・・・」

リンク ミッションクリア

ジーノ「やっとついた・・・さっきリンクがためらってたような感じだったけど・・・まあ、いいか」

ルカリオ「ジーノさん よかったですね・・・」

ボスパックン「まさか毒がこれほど苦しいとは・・・」

ジーノ ルカリオ ボスパックン ミッションクリア

これですべての逃走者の避難が終了した・・・

しかし、毒はまだ止まっただけではない・・・

次回・・・

逃走者に再び毒が襲いかかる！

ゲーム終了残り70分

続く！

ミッション5 中間ドラマ（前書き）

とりあえず生きてます。

一応今回ほとんどドラマです。

改めていいますが、この小説はフィクションです。

ミッション5 中間ドラマ

集団員1『団長！ これで復讐ができるはずですよ！』

団長『ああ、そうだな・・・』

集団員1『団長、どうしたんですか？』

集団員3『一年前にここで団長の彼女が死んだんだ』
（ここから3人の話が終わるまで小声）

集団員2『どういことなんだ？』

集団員3『まず、なんで一般人が逃走中にでれないか知ってるか？』

集団員1『一般人がやっても、いまいちパツとしないからじゃないのか？』

集団員3『いや、一年前に、実際この遊園地で一般人だけの逃走中が開催された』

集団員2『そうなんだ』

集団員3『そのとき、ミッションでここ・・・あ、オーロラハウスという意味でだぞ。それで昔はここは広場で、ここの爆弾を解除するミッションがあったんだ』

集団員1『でもそれも本当に爆発するわけじゃないんだろ』

集団員3『ああ。だが昔この作業員が爆破マニアでその爆弾に本当に入れたんだ』

集団員2『ということは・・・まさか!』

集団員3『ああ、団長の彼女が逃走者としてでていて、そのときの爆発で死んだ』

集団員1『団長にそんな過去があったのか・・・』

団長『おい、お前ら』

集団員1『はい、団長!』

団長『これで・・・いいんだよな・・・』

集団員2『いいんじゃないっすか、団長』

団長『そうだったらいいんだけどな・・・』

『も・・・め・・・』

団長『ん?』

集団員1『ん、どうしたんですか?』

団長『いま、何か聞こえなかったか?』

集団員1『さあ? なんでしょうか?』

団長『そうか・・・』

『もうやめて!』

団長『! この声は!』

集団員1『団長?・・・あ! 団長、大変です!』

団長『どうした・・・!』

そこには、機械が暴走してオーロラハウス内に毒ガスが入っていた光景があつた・・・

『ピコン!』

マリオ「メールだ」

ハヤテ「『ミッション5結果。全員避難したため、強制失格者はいない』よかった・・・」

ラグナ「『が』がつて何!?」

カービー「『ミッション5その2』!?」

ヒナギク「『現在、オーロラハウス内にある毒ガス放出の機械が暴走し、オーロラハウス内に毒ガスが入ってきている』ま、またですか!」

魔理沙「このままでは、ゲーム終了残り63分に全員全員強制失格になる」嘘だろ……」

リンク「阻止するには、エリアの奥にあるレバーを3人同時におろし、毒ガス吸収装置を起動しなければならない」このミッションは通報なしでまじめにやらないとな」

ルカリオ「尚、ミッションクリアまで、エリアに2体の停止部隊を開放した。彼らに捕まると1分間動けなくなるので注意してほしい」停止部隊……」

ミッション5その2 毒ガス吸収装置を起動せよ

現在、エリアに毒ガスが充満し始めている。

ゲーム終了残り63分までにエリアの奥にある毒ガス吸収装置の前にあるレバーを三人同時におろさなければならない。

なお、このミッション中は、エリアに2体の停止部隊がおりつかまると、1分間動けなくなるので注意しろ。

逃走者はこのミッションも突破することができるのか！

ゲーム終了残り69分

続く！

ミッション5その2 その1(前書き)

サブタイトルやこしい・・・

ミッション5その2 その1

マリオ「身をかがめていくか・・・」

安全策をとるマリオ・・・

マリオ「レッツゴー！」

靴も使いすばやく移動するマリオ。

ポポ「ミッション行くよ！」

ナナ「うん！」

彼らはこのようなミッションに有利な状況である・・・

ヒナギク「ちょっと・・・きびしいかな・・・」

先ほどのミッションから続き、毒により大ダメージを受けているヒナギク・・・

ヒナギク「でも私だって頑張らないと・・・」

しかし・・・

停止部隊「・・・！」

見つかった・・・

ヒナギク「奥は・・・多分こっちよね？」

『ポン』

ヒナギク「へ？」

桂ヒナギク 一時停止

ネス「やっとつきました・・・」

魔理沙「そうだな・・・」

レバーの前にたどり着いた二人・・・

ネス「あと一人ですね・・・」

魔理沙「ああ。だが後3分だぞ」

マリオ「おい！ レバーあるかー！」

ネス「あ！ マリオさん！」

魔理沙「これでクリアだ！」

マリオ「行くぞ！」

『ガッ』

三人「」「へ？」「」

『カタッ』

マリオ「……なんだこれは？」

ネス「パネル？」

魔理沙「あ、なんか書いてあるぞ？」

マリオ「えっと……『正しい順番に並べる。 ヒントは最初の背中 法則を思いついたら作者に聞いてもよい』は？」

ネス「これは……ネギまのキャラ？」

魔理沙「すまん、俺ネギま知らないから活躍できないな……」

マリオ「えっと……『ネギスプリングフィールド』『神楽坂明日菜』『桜咲刹那』『エヴァンジェリン・A・K・マクダヴェル』の四人のパネルだな」

ネス「それをどう並べよう……」

マリオ「考えろ……まだもう少し時間はある……」

いったいこの4人をどのように並べればいいのか！？

次回！ミッション5完全完結！

ゲーム終了残り65分

続く！

ミッション5その2 その1（後書き）

皆さんも法則を考えてみてくださいww

ミッション5その2 その2（前書き）

なお、3人は身がかがめてできるだけ毒を吸わずに考えています。

そしてこの問題メタ発言過ぎたww

ちなみに、なぜ繋げなければならぬかは、パネルが回線になっているからです。

ミッション5その2 その2

マリオ「最初ってどういうことだ？」

ネス「うーん……」

魔理沙「まさか登場順か？」

マリオ「いや、それだと、ネギの次が明日菜だがそのあとが変だ」

ネス「確かに……」

魔理沙「こうなったら適当に並べるしかない！」

マリオ「いや、それは愚案だ。もう時間がないし……」

魔理沙「ないし？」

マリオ「『一度はめたら取れないようになってい』と書かれているんだ」

ネス「え……」

魔理沙「つまりチャンスは一回……あれ？　なんか聞こえないか？」

マリオ「確かに。機械音か？」

ネス「あー……もうはめちゃった」

マリオ 魔理沙「……………」

マリオ「な、なんだってーーーーー!!!!!!」

魔理沙「終わったな……………」

ネス「あ、で、でも機械も動いたようだし……………」

マリオ「は？」

魔理沙「え？ お！ 確かに動いてる！」

マリオ「こんなクリアでいいのか……………」

刑事「そろそろ犯人たちが出てくるだろうな……………」

警官1「本当ですか？」

刑事「ああ。そろそろ毒だつて切れる。あんな短時間で毒が出る機械には毒を吸い取り、中で中和させる機能もついてるもんなんだぞ」

警官1「それ嘘ですよね」

刑事「まあな。だが本当になくなってきてるぞ」

警官1「あ！ 本当です！」

刑事『よし！ 全員犯罪者を捕まえろ！』

集団員1『団長！ 今すぐ逃げましょう！』

団長『逃げたければそいつらだけ逃げろ』

集団員2『何ですか！ このままだとつかまりますよ！』

団長『確かに。だが、俺はな・・・』

集団員1『なんですか！』

団長『お前ら二人が俺をだましていることを知ったんだ！』

集団員1 2『！』

団長『冷静に考えれば今回のことを思いついたのはおまえらだった！
！ そしてお前らが落とした紙を見て今確信した！』

集団員1『な！ か、紙がない！』

集団員2『お前！ 捨てろっていっただろ！』

週団員1『だってまだ覚えてなくて！』

週団員2『覚えてなかったのかよ！ とにかく逃げるぞ！』

二人はここから立ち去り、その後、小さくつぶやいた。

団長『次来るときには復讐など考えずに来るからな・・・』

こうしてこの事件は幕をとじた・・・が

???1『そろそろ私たちの出番ですね』

???2『ああ。しかし私は用事ができたらすぐ帰るからな』

???3『まさか逃走中のハンターとして結界の外にだしてくれるとはな。くくっ』

ジェットコースターに乗っている3人がつぶやいた。

逃走者はこの3人に打ち勝つことができるのだろうか！

ゲーム終了残り62分

続く！

ミッション5その2 その2（後書き）

ちなみに答えは原作の背表紙が速い順です。

ミッション6 その1（前書き）

三人のハンター役は結構強いはず。

とくに???2はある機械を使いものすごく速く（ちょっと自重してもらってます）

???3は空中にとび、攻撃をする場合もあります。

大変危険です。蒼穹・・・あ、間違えた。早急に避難しましょう。

ミッション6 その1

ミッション5そのとき牢獄組

ルイージ「あー、キノコラーメンおいしいな」

ミク「この料理おいしいですね」

レストランで食事をしていた。

霊夢「でもここで食べてていいの？」

マスター「ああ。むしろここで食べておかないともう食べれないかもしれないからな」

『ピシユン！』

アイク「おわったのか・・・」

ピカチュウ「あ、アイクー 料理食べようよー。マスターが注文していいってー」

アイク「そうか。肉料理ならなんでもいいぞ」

ピーチ「にしても、アイクが裏切り者じゃなかったのね」

アイク「ああ。今回は俺じゃないぞ」

メタナイト「ならいたい誰が・・・」

『ピシュン!』

リン「あそこで自首してよかったのかな？」

ルイーダ「あ、リン、賞金ゲットおめでとー」

リン「あ、はい。ありがとうございます」

そしてミッション5終了

マスター「それじゃ、牢獄に戻るぞ」

『ピシュン!』

マリオ「そろそろ出るか？ 今ハンターいないんだろ。作者だつたらここからハンター解放とかやりかねないからな」

魔理沙「そうだな。じゃあいくか」

ネス「はい!」

『ピコン！』

マリオ「来た！メールだ！『ミッション6』はやいな・・・」

魔理沙「『今回のミッションは君たちのことを思い、速めに公表した』つまり面倒なミッションか？」

ネス「『ゲーム終了残り58分になると強力なハンター役を3人レインボーコースターの入場口から開放する』強力なハンター役？」

ルカリオ「『阻止する方法はなく、このままだと逃げ切ることはほぼ不可能なので、のこり55分半に北の駅。残り50分半に南の駅にくる電車に乗りエリアから脱出せよ』なるほど・・・」

ピット「『しかし、電車に乗るには、切符が必要で、切符は3箇所に設置された宝箱のなかに5枚ずつ入っている』どこに行けば・・・」

リンク「『電車が駅にとどまるのは30秒。ただしホームにハンターは入ってこれない』つまり中で密告はできないのか」

ミッション6

切符を手に入れエリアから脱出せよ

エリアの3箇所に宝箱を設置した。その中には切符が入っている。早い者勝ちだがエリアには残っている逃走者全員分がゲットしても

あまるくらい切符はある。

そして、ゲーム終了残り55分半にエリア北部の駅、50分半にエリア南部の駅に電車が来る。

逃走者はそれまでに切符を手に入れエリアから脱出しなければならない。

しかし、ゲーム終了残り58分に3人の強力なハンター役を解放するので注意が必要だ。

なお、逃走者には伝えられていないが北部の駅で脱出できれば特別に無敵サングラスを支給される。さらに残り55分をきらなければ南部の駅には入れない。

マリオ「とりあえず早くでるぞ！」

魔理沙「ああ！」

ネス「はい！」

このミッションを勝ち抜ける逃走者は現れるのか！

ゲーム終了残り60分

残り逃走者13名

続く！

ミッション6 その2（前書き）

通達3忘れてたww

すいません。

ミッション6 その2

ハンター役開放まで残り2分をきった・・・

マリオ「すまんが、別行動させてもらう。じゃ!」

ビュウウウン!

マリオは靴を使い移動した。

ネス「・・・あれはちよつと・・・」

魔理沙「ずるくないか?」

アイテムも・・・大事だ・・・

ルカリオ「あ、切符です!」

スタープラネットタウン北東にて宝箱が見つかった。

ジーノ「見つけた!」

ピット「本当ですね!」

さらにミニコスモステーションエリアの中央の噴水広場にも宝箱があった。

これで二箇所の宝箱の場所が判明した！

ハンター役解放まで残り

10

9

8

7

6

5

4

3

2

1

0

エリアには3人の強力なハンター役が・・・

そして・・・

『ピコンー!』

ハヤテ「えっと・・・『通達3 実行』 実行?」

マリオ「『この通達は通達3で疑われた人にのみ送られる』は?」

ラグナ「『今さっきハンター役が開放された』 もうそんな時間か・・・」

ヒナギク「『そして、そのハンター役に君たちの居場所を通報した』
え!」

???1「じゃあ私はポポさんたちの方に行きます」

???2「じゃあ私はマリオのところに行く」

???3「じゃあ私はリンクのほうに行くぞ」

果たしてこの三人の運命は!

そしてハンター役はいったい誰なのか！

ゲーム終了残り57分

続く！

ミッション6 その3（前書き）

これまでのミッションの難易度

ミッション1

ミッション2

ミッション3

ミッション4

ミッション5 その1

その2 （クイズ分の追加）

ミッション6

ミッション6 その3

SIDE アイスクライマー

ポポ「どこに行けば・・・」

ナナ「船の手前とか・・・？」

ポポ「でも早くしないとハンターくるかもしれない・・・来た！」

????1「！ いました！」

見つかった・・・

ポポ「来た！」

ナナ「だ・・・誰！」

????1はマント（結構前の逃げ切ったら200万のボーナスゲームのときのあれみたいな感じ）を羽織っていて誰なのかが分からない。

ポポ「とにかくにげ！」

ナナ「は・・・はや！」

ある程度あつた距離もすぐに縮まり・・・

『ポン』

レインボーコースターエリアにてアイスクライマー

確保 残り12人

ポポ「速い・・・」

SIDE マリオ

『ピコン!』

マリオ「メールか。ユナイテッドによりアイスクライマー確保・・・

」

ジーノ「そうだな」

マリオ「というより、俺の近くにいていいのか？」

ジーノ「お前といたらつかまらないような気がしてな」

完全に・・・フラグだ・・・

マリオ「それにここにハンターが来るかもしれないぞ」

ジーノ「まあ、運だからな」

マリオ「確かにそうだが・・・来た!」

ジーノ「?いないじゃないか」

マリオ「空だ!」

???2「見つけたぞ！」

マリオ「自分で逃げろ！」

ジーノ「おい！ 見捨てるなよ！」

ビュウウウン！ ビュウウウン！

ジーノ「見捨てられた・・・」

『ポン』 スタープラネットエリアにてジーノ確保 残りいつ
たん11人

ジーノ「5分以内・・・」

ジーノはアイテム『ハンタードール』所持により5分以内にハンターか別の逃走者に接触すれば復活できる。

このアイテム使用中に個別のミッション（強制失格など）があった場合そのミッションは無効となる。

今回の場合復活した時点で電車へワープする。

ジーノ『おいかけ・・・いない・・・』

もうこの場所には二人ともいない・・・

マリオ「逃げろーーーーー！」

まいどおなじみの靴を使用し逃走中

????2「待て！」

ハンターも追いかける。だが距離がまったく変わらない。

マリオ「お！ 宝箱！」

ミニコスモステーションエリアの宝箱を発見したマリオ。

このまま逃げ切れるのか！

ミッション6 その3（後書き）

ここで速さ比較（疲れなし 勝手に他人キャラも・・・）

ハンター<ユナイテッド<折原 空 ソニック<あゆみん<ダーク
ピカチュウ I

ミッション 6 その4 (前書き)

ミッション6 その4

SIDEリンク

リンク「やばいな・・・」

裏切り者であるリンクは迷っていた。

リンク「自首しようかな・・・」

裏切り者であるリンクが今自首した場合、約67万円に加え、ボーナス60万を手に入れることとなる！

リンク「・・・もう自首します！」

自首を決意した・・・

そしてちょうどよくその近くに電話ボックス・・・

リンク「ちょうどよすぎて怖い・・・」

電話ボックスに向かうリンク

しかし・・・

???3「リク・ラク・ラ・ラック・ライラック!!」

リンク「!!」

「???3「契約に従い（ト・シユンボライオン） 我に従え（デ
アーコネート・モイ・ヘー） 氷の女王」
クリュスタリネー・パシレイア

リンク「まさか！」

「???3「来れ（エピネネーテート） とこしえのやみ（タイオ
ーニオンエレボス）！」

えいえんのひょうが（ハイオーニエ・クリュスタレ）！！」

リンク「来た・・・ 逃げろ！」

「???3「まあ、ここで止めておくか・・・ おっと、これで逃が
すと思うなよ。リク・ラク・ラ・ラック・ライラック！！ 魔法の
射手 氷の17矢」
サギタ・マギカ セリエス・グラキアーリス

リンク「！」

「???3「ふん。これで終わりだ」

ポン オーロラハウスエリアにて裏切り者リンク確保 残り10名

リンク「完敗だな・・・ エヴァンジェリンさん」

エヴァ「伊達に600年生きてるわけじゃないからな」

SIDE マリオ

マリオ「残り6分・・・」

靴の残り時間を心配しながら駅に向かうマリオ

マリオ「よし、速めにクリアしたぞ！」

マリオは駅に入った。

???2「逃がしたか・・・」

マリオ ミッションクリア

『ピコンー！』

魔理沙「メール来た！『鷹崎駆真によりジーノ確保 エヴァンジ
エリンにより裏切り者リンク確保』 って、裏切り者はリンク！？」

ルカリオ「『残り10名』もうすぐ一桁・・・」

次回 ミッション6終了？

ゲーム終了残り55分

続く！

ミッション6 その5（前書き）

今回、ゲームが大きく動く・・・

さて、何人残るかな？

リンク「ああ・・・牢獄についてしまった・・・」

霊夢「やっと来たわね」

ピカチュウ「もう充電はしておいたよ」

ミク「さてと、始めますか・・・」

リンク「・・・」

ミッション6 その5

ジーノ「どこにいるのか・・・」

近くには誰もいなさそうだ・・・ 後3分

ハヤテ「あ、あつた！」

スタープラネットタウンの切符を見つけたハヤテ。

このままクリアを目指す！

ネス「こんなところにあるのは・・・」

レインボーコースター乗車口前に宝箱がある。

ネス「・・・向かう！」

彼もミッションクリアを目指す！

ピット「つきました！」

駅に着いたピット。

ピット「ゆっくりしてますか」

といい、ホームに向かう。

ピット ミッションクリア

ラグナ「結局ハンター3体だから、そこまで会わないだろうな」

駆真「そんなことはないようだがな」

ラグナ「！ハンターか！」

『ポン』 ミニコスモステーションエリアにてラグナ確保 残り9人

ラグナ「札を使う時間がなかった・・・」

『ピコン！』

マリオ「メールということは・・・」

ピット「『鷹崎駆真によりラグナ確保 残り9名』遂に一桁・・・」

ネス「あ、ハヤテさん」

ハヤテ「ネスさん、一緒に行きますか？」

ネス「ええ、切符も持ってますし」

ハヤテ「僕も持っていますから速く行きましょう!」

ボスパックン「よく俺ここまで逃げ切ったな・・・でも、もう無理だな・・・」

切符を見つけたボスパックン・・・だが

ユナ「見つけました!」

ボスパックン「動きは鈍いから、ここまで逃げ切ったのは奇跡だが、見つかったからな・・・」

『ポン』オーロラハウス付近にて ボスパックン確保 残り8名

魔理沙「見つけた!」

ヒナギク「あつた!」

カービィ「切符だ!」

その後全員が切符を入手した・・・が・・・

ルカリオ「つかまりたくはないけれど・・・」

エヴァ「まあ、こっちが有利だったからな」

『ポン』

魔理沙「速すぎる・・・」

駆真「・・・」

『ポン』

ルカリオと魔理沙が捕まり、残り6名、ミッション終了まで後3分となり・・・

ジーノ「やばい！」

時間がないのはこの人も・・・

ジーノ「もう時間が・・・」

そして時間となった・・・

ジーノ 復活失敗

ネス「ハンターを見つけたときはびっくりしたけど・・・」

ハヤテ「やっとうきました・・・」

この二人が駅についた。

ネス 綾崎ハヤテ ミッションクリア

ヒナギク「もう時間がない・・・ って、ハンターが・・・」

エヴァ「遅いな」

『ポン』 レインボーコースターエリアにて桂ヒナギク確保
残りったん5名 残

ヒナギク「つかまった・・・でも！」

エヴァ「ん？」

ヒナギク「これでいいのよ」

『ポン』

エヴァ「な！ しまった！」

ヒナギクは、ハンタードールの効果でエヴァを捕まえた。

ヒナギク「これで・・・」

桂ヒナギク 復活

『ピコン』

マリオ「メール・・・うお！」

ヒナギク「よかった・・・事実上ミッションクリアして・・・」

ハヤテ「『桂ヒナギク確保』ヒナギクさんが！」

ネス「『しかし、アイテムの効果で復活。電車へ移動させた』・・・
なんでアイテム持つてるの？」

カービィ「後1分・・・大丈夫だ！」

残り1分になり、駅へと向かう。

・
というより、体が小さいから見つかりにくいところにいたのだが・・・

カービィ「もう行かなきゃまずい・・・」

カービィも駅に向かう。だが・・・

カービィ「って、駅案外近かったな」

よく見たら100メートルくらい先に駅があった

カービィ「あ、地図見間違えてた」

といい、駅へと入る。

カービィ ミッションクリア

こうして全員がミッションクリアした！

電車には6人の逃走者。

外にはたくさんの客。

そして、近くにはだれもない東エリアの牢獄

そして、オーロラハウスの屋上には、ある少女がいた。

???「トレース」

すると、少女の服がどこかで見たことのありそうなメイド服に変わった。

そして・・・

???「ザ・ワールド」

少女が放ったこの一言の言葉が、

エリアの時間を止めた・・・

今動けるのは当事者の少女

そして、ハンターと

ピカチュウ「ん！ 時間が止まってる！？」

ルイージ「ほんとだ！」

ミク「な・・・」

リンク「よかった・・・何とかなった・・・」

牢獄者だけである・・・

残り逃走者6名

続く！

ミッション6 その5（後書き）

次回のことは・・・

みなさん。お分かりですよね。

復活ゲーム その1（前書き）

みなさん、お待たせいたしました！

復活ゲームです！

はたして、過酷な条件の中で復活するものは・・・

復活ゲーム その1

駆真「！ しまった・・・」

エヴァ「ん？ どうしたんだ？」

駆真「ちょっと用事を思い出した。じゃ私は先に帰らせてもらっぞ」

ユナ「ちょっと、まってください！」

ワリオ「おい、なにが起きたんだ！」

スネーク「落ち着くんのだ！ そして周りを見回すんだ！」

リンク「よし・・・このまま忘れられてくれ・・・」

『ピコンー！』

ピーチ「メールよ！」

ドンキー「『これよりゲームを一時中断し、復活ゲームを行う』お
お！」

魔理沙「『まず、現在このエリアの時間が止まってしまっている』
たしかに・・・」

ワリオ「『君たちにはそのときを再び動かして欲しい』」

ラグナ「『まず、君たちの目の前にサイコロを設置したのでそれを振ってほしい』へ?」

リユカ「『振った後に詳しく説明する』」

リーン「『尚、自首したリーンは復活ゲームに参加できない』やっぱり・・・」

サイコロを振るのは即席のくじでマルスに決められた。

マルス「じゃあ行くよ・・・」

ちなみにサイコロの目は4から8、さらに当たりと書かれていた。

マルス「なにが出る・・・」

出た目は・・・

マルス「7だ・・・」

出た目は・・・7だ・・・

『ピコン!』

アイク「またメールか『出た目は7のため、時間再起動装置を7つ設置した』」

ヨッシー「『そのレバーを下げれば復活できる』簡単ですね」

ポポ「ただし、制限時間は10分でハンター役も普通のように君たちを確保しようとしている」やっぱり・・・」

ピカチュウ「ただし、ハンターは2体に減った」お、やった!」

ミク「『それでは、牢獄者全員でカウントダウンをして欲しい』じやあ10から行くわよ!」

ルカリオ「10!」

ルイージ「9!」

ワルイージ「8!」

ジーノ「7!」

霊夢「6!」

魔理沙「5!」

リユカ「4!」

マルス「3!」

ルカリオ「2!」

ミク「1!」

『ガシャン!!』

牢の一方がこわれ、復活ゲームがスタートされた。

復活ゲーム終了残り10分

続く！

復活ゲーム その2（前書き）

今残っている逃走者。

マリオ

ピット

ネス

ハヤテ

ヒナギク

カービィ

あと、エヴァの魔法詠唱省きます。

復活ゲーム その2

エヴァ「甘い！」

リンク「直進した先にハンター！？」

エヴァ「氷爆！」

爆発とともに3人の移動を封じた。

エヴァ「ふむ・・・3人か」

つかまつたのは・・・

リュカ「油断した・・・」

ピーチ「ちょっと、なんてことをするのよ！」

ポポ「ナナ、ごめん・・・」

この3人だ・・・

ポン

リュカ ピーチ アイスクライマー 確保 残り22名

ルイージ「あつた・・・」

ワルイージ「そうだな・・・」

2台の時間再起同装置を見つけた二人。

ガコン

ルイージ　ワルイージ　復活　残り20名

といい、電車内へワープされた。

ユナ「見つけた!」

アイク「見つかったか!」

スネーク「逃げるぞ!」

当然、差はどんどん詰まる。

ユナ「捕まえました」

メタナイト「人数が多いと前に行きづらいな・・・」

メタナイト確保　残り19名

ユナ「もう一人!」

アイク「負けたか・・・」

アイク確保　残り18名

ユナ「もうひと・・・へ？」

もう一人捕まえようとするが、お札を貼られてしまった。

お札を持っているのはひとりだけ。

ラグナ「あぶなかった・・・」

ラグナだ・・・

これによりユナは3分間動けなくなった。

復活ゲーム終了残り7分

続く！

復活ゲーム その3（前書き）

オルバト！　っという作品考えた。

現在構想中・・・

復活ゲーム その3

魔理沙「おいおい、こんなところにあるのかよ」

ガコン

霧雨魔理沙 復活 残り17名

ワリオ「どこ」

ボン

エヴァ「お前にやるセリフなどない」

ワリオ「・・・」

ワリオ 確保 残り16名

ボスパックン「お、見つけた！」

運よく機械を見つけたボスパックン。

ガコン

ボスパックン 復活 残り15名

ピカチュウ「よし、ここに機械があつた！」

マルス「でもここにあるのは二つ・・・」

ミク「そしてここにいるのは三人・・・」

ピカチュウ「・・・」

マルス「・・・」

ミク「・・・」

「「「ジャンケンポン!!」」」

ミク「グー・・・」

マルス「パー・・・」

ピカチュウ「チョキ・・・」

「「「あいこで・・・しょ!」」」

ミク「パー・・・」

マルス「パー・・・」

ピカチュウ「グー・・・」

ミク「ごめんね・・・」

マルス「ピカチュウ、頑張つてね・・・」

ピカチュウ「うん。二人も頑張つてね」

初音ミク マルス 復活 残り13名

スネーク「もうあと4分か・・・ メールが来ないが、復活者はわからないようになってるのか？」

クッパ「そうだな」

『ピコン!』

スネーク「メールか・・・ 『復活可能者はあと一人だ』 って、なんだと!」

リンク「あ、ありました!」

ガコン

リンク復活 ゲーム終了

現在の逃走者

マリオ

ピット

ネス

ハヤテ

ヒナギク

カービィ

ルイージ

ワルイージ

魔理沙

ボスパッくん

ミク

マルス

リンク

ゲーム終了残り50分

続く！

復活ゲーム その3（後書き）

ワルイージは、あの機械を持っています。

ゲーム再開！（前書き）

そして時は動き出す・・・

全員「パクリじゃん！-」

そして・・・

裏切り者も復活した・・・

ゲーム再開！

復活ゲームが終わり、13人が電車に集まる。

マリオ「うお！ 何でここにみんながいるんだ！」

ハヤテ「しかも裏切り者のリンクさんもいます！」

ボスパックン「え、本当か！」

13人集まった電車内に、電子音が響く。

マリオ「メールか・・・『復活ゲーム結果』復活ゲームあったのか！」

ネス「『復活したのはルイーザ ワルイーザ 霧雨魔理沙 ボスパックン 初音ミク マルス リンク の7人だ』だから来たんだ・・・」

ヒナギク「『なお、リンクはこれ以降に密告した賞金は5万となる』」

カービィ「『さらに、これより1秒300円のため、ハンターをさらに1体解放。ハンターは5体となった』あー・・・やっぱりね・・・」

ピット「『それでは、ミッション5クリア者には差し入れを送る』差し入れ？」

というと、6人の前に、いつの間にか弁当がおかれた。

マリオ「お、キノコメインの弁当だ！」

ネス「おお、おいしそう！」

ピット「なすはないようですね」

ハヤテ「じゃあ早く食べましょうか」

ヒナギク「そうね」

といい、いつの間にか駅に付いていた。

そして、

1
0

9

8

7

6

5

4

3

2

1

スタート！

スターキャッスルから、5体のハンターが放たれた・・・

残り逃走者13名

次回。第二次の何かが起きる・・・

続く！

ゲーム再開！（後書き）

リンクはちょっと健康でいられる何かが伸びただけです。

第二次アイテム争奪戦（前書き）

翡翠 煉 は ろーぷれの まんがばん 1 かん を てにいれた！

マリオ「なんでこっちで言ったんだよ・・・」

60

第二次アイテム争奪戦

リンク「全員、駅にいます」

マリオ「やりやがった！」

ボスパッくん「逃げろ！」

全員この場から走って逃げる。

ワルイージ「まっすぐ先の道にハンター2体！ 左に2体！ 右が安全だ！」

機械を使い安全な場所を確認するワルイージ。

ルイージ「あ、リンクがいない！」

気がつけば、この場にはリンクがいなかった。

カービィ「遂にハンターが！」

ボスパッくん「ここは俺が食い止める！ 俺は絶対逃げ切れない！」

ネス「へ！？」

ピット「ボスパッくん・・・ありがとうございます！」

『ポン』 駅前にてボスパッくん確保 残り12名

ボスパックンがつかまったおかげでほかの11名はハンターから逃れた・・・

『ピコン!』

マリオ「メール・・・『ボスパックン確保』やっぱりか・・・」

リンク「嘘だろ! 一人だけ!」

この時点でボーナスは65万円・・・

そして、

ヒナギク「ん? メールに続きが・・・『通達6 スターキャッスルの前に4個の宝箱を置いた』」

ハヤテ「『その宝箱の中にはアイテムが入っている』」

魔理沙「『宝箱は一人一回しか開けられない』だよな・・・」

残り45分

続く!

アイテム争奪戦second(前書き)

ちよつと短いね。

アイテム争奪戦 second

魔理沙「城はこっちか！」

城に向かう逃走者たち・・・

一番乗りは・・・

マリオ「ついた！」

アイテムを持っていたマリオだ・・・

マリオ「よし、あけよう・・・これは？」

アイテム トリプルネット

効果 ハンターに向かって打つと一時停止できる網を3回放つ。
尚、今後のミッションでも使用する。

マリオ「これは当たりだよな・・・」

リンク「マリオがいたか・・・」

といい、電話をする。

リンク「マリオスターキャッスル前にいます」

マリオ「リンクいたか！」

はたして、マリオはどうなるのか！

残り12名

残り46分

続く！

ミッション7 その1（前書き）

今回も短いよ。

ミッション7 その1

マリオ「ち・・・ここは逃げる！ 靴だ！」

靴を使い逃げるマリオ。

残り210秒

マリオはなんとかハンターをまいた・・・

さて、リンクの手に入れるアイテムは・・・

リンク「時止めの砂時計？」

効果 ミッション時間を3分停止する。

リンク「当たり・・・か？」

そのころ、スタッフたちは・・・

スタッフ1「それにしても、残念でしたね・・・」

スタッフ2「仕方ないだろ。あんな事件が起きたんだ。アイドルたちも来ないよ」

どうやら、あの事件がなければこの遊園地にアイドルが来るはずだったらしい・・・

スタッフ3「でもあんな企画だったからな・・・もしかしたら失敗してアイドルもこっちも共倒れしてたかもしれないから・・・」

と、3人は観覧車を見つめる。

スタッフ1 2 3「まさか観覧車に乗ってイベントをやるうとしてたとは・・・」

???「・・・」

謎の存在がボタンを押すと・・・

通報部隊「！」

観覧車内に3体の通報部隊が設置された・・・

残り12名

残り44分

続く！

ミッション7 その1（後書き）

マリオって運いいね。

ゲットしたアイテム全部あたりだよ。

ミッション7 その2（前書き）

本来はアイドルの一人が高所恐怖症とわかって中止となるはずでした。

ミッション7 その2

『ピコンー!』

魔理沙「メールか・・・『ミッション7』」

カービィ「『観覧車に通報部隊が3体あらわれ、現在1体の通報部隊が通報をしている』」

マリオ「『通報部隊を停止させるには、観覧車前にある通報部隊停止装置のレバーを二人同時におろさなければならない』」

リンク「『ただし、レバーをおろすには2箇所のロックを解除しなければならぬ』」

ハヤテ「『ロックは、アカデミータウンの巨大オブジェと城の南部にあるイベントステージに設置した機械を起動させればロックが解除される』」

マルス「『ただしロックを解除すると1箇所につき1体の通報部隊が起動する』」

ミッション7 通報部隊を停止せよ

現在観覧車には3体の通報部隊がいてそのうち1体が通報している。それを止めるには観覧車前に設置された機械についているレバーを二人同時におろせば通報部隊は停止する。

ただしレバーは現在おろせない。おろせるようにするにはエリア北東部のアカデミータウンにある巨大オブジェとスターキャッスル南部にあるイベントステージに設置された機械を起動させロックを解除しなければならない。

ただしロックを解除した場合通報部隊が1体ずつ起動するので注意しろ。

マリオ「逃げた先がイベントステージ・・・」

といい、マリオは機械の筒らしきものを抜く。

通報部隊「！」

2体目の通報部隊が起動した。

ロック1 解除

残り12名

残り40分

続く！

ミッション7 その2（後書き）

ネギまのアニメを見て、キャラの髪の色とか声とか聞いて驚いたw

ミッション7 その3（前書き）

マリオは現在ステージの影にいます。

観覧車からステージはぎりぎり見れません。

ミッション7 その3

現在2体の通報部隊が動いており、アカデミータウンの機械を起動させれば通報部隊を停止させる機械を停止させられる。

しかし、機械は観覧車の前にあるのでリスクが高い。

さらにエリアには5体のハンター。

果たしてミッションはクリアできるのか・・・

ハヤテ「とりあえず観覧車から遠いアカデミータウンに行きます」

アカデミータウンに向かうハヤテ・・・

しかし・・・

リンク「綾崎ハヤテ、キャッスルガーデン付近にいます」

裏切り者に通報される・・・

ハヤテ「時間制限はないですしまだもう一方が終わってないと思うので・・・」

通報されたことにきずいていない・・・

ハヤテ「それならゆっくり行っても・・・」

しかし、その背後に・・・

ハンター「・・・！」

見つかった・・・

ハヤテ「観覧車からの通報もありますし・・・見つかった！」

きずくのが遅かった・・・

『ポン』 キャッスルガーデン付近にて綾崎ハヤテ確保 残り11名

ハヤテ「ああ、つかまっちゃったか・・・」

『ピコン！』

マリオ「メール・・・ハヤテつかまったか・・・」

マルス「裏切り者リンクの通報・・・」

魔理沙「観覧車・・・大丈夫だよな？」

スターキャッスルにたどり着いた魔理沙・・・

魔理沙「アイテムは・・・不可視の仮面？」

効果は・・・通報を一切受けない・・・このミッション終わった
ら使えないんじゃない・・・」

（裏切り者にも効果があります）

マルス「とりあえず・・・観覧車の近くにしよう。人が来るかもしれないから・・・」

観覧車の近くで待機するマルス。

しかし・・・

通報部隊「！ マルス 駅南方の森にいます」

通報された・・・

マルス「でももう見つかった可能性も・・・これは見られたな・・・」

観覧車から離れるマルス。しかし・・・

ハンター「！」

みつかった・・・

マルス「前方から・・・こっちだって簡単にはつかまらないよ！」

マルスも後ろに走り出すが距離が縮まっていく・・・

マルス「これは・・・おわったな・・・」

といい、足を止めるマルス。

マルスの前には、別のハンター・・・

『ポン』 駅南部の森付近にてマルス確保 残り10名

マルス「挟み撃ちじゃあもう無理だね」

『ピコン！』

ワルイージ「メール・・・もう残り10人か・・・」

ヒナギク「これは通報部隊の通報による確保・・・ついに通報部隊が・・・」

残り10名

残り32分

続く！

ミッション7 その4 リンクの決意。そして・・・（前書き）

現在の逃走者

マリオ

ピット

ネス

ヒナギク

カービィ

ルイージ

ワルイージ

魔理沙

ミク

リンク

ミッション7 その4 リンクの決意。そして・・・

リンク「・・・」

スタッフ「どうしましたか？」

リンク「もし俺がここで通報を止めても、みんなは許してはくれませんよね」

スタッフ「そうですね。でも、そうじゃないかもしれませんよ？」

リンク「・・・え？」

スタッフ「俺、小さいころいじめをしていました」

リンク「え、あの・・・」

スタッフ「できれば聞いてください。俺はいじめを始めてしばらくして、自分の惨めさを知りました。

自分が情けなかったんです」

リンク「それで・・・どうしたんですか？」

スタッフ「謝りましたよ。するとみんな、許してくれました。そのとき俺はほんとにみんなに感謝しましたよ。もしこのとき許してくれなかったら、今頃どうなっていたことやら・・・」

リンク「・・・」

スタッフ「だから、まだ間に合うかもしれないよ?」

リンク「・・・そうですね!」

といい、ある人にリンクは電話をした。

マリオ「? 電話か・・・ もしまし」

リンク『リンクだ・・・』

マリオ「リンク! なんのようだ!」

リンク『すまなかった・・・つい自分のことしか考えていなかった・
・・・』

マリオ「・・・だからって、簡単に許してくれると思つなよ」

リンク『ああ、わかつてる』

マリオ「・・・で、お前? これからどうするんだ?」

リンク『もう通報はしない。これからのミッションは全部参加する。
賞金をゲットして通報してしまったみんなに賞金を払う。俺はもうこれくらいしか・・・』

マリオ「・・・分かった。俺がみんなに言うておく。ちなみに俺は今ステージにいる」

リンク『！もしかしたらお前の場所を通報するかもしれないぞ？』

マリオ「大丈夫だ。お前は絶対に通報しない。そう信じるからな・
」

プツッ

リンク「・・・やれやれ、マリオさん。バカですよ。裏切り者に居場所を教えるなんて・・・」

スタッフ「・・・リンクさん。本心はわかってますよ」

リンク「ま、俺もそんな馬鹿の一人だけだな。」

そして本部に電話する。

リンク『これで通報をやめます』

魔理沙「お、ルイージか」

ルイージ「あ、魔理沙さん」

魔理沙「これから観覧車に向かうが、お前も来るか？」

ルイージ「え・・・でもそれは危険じゃ・・・」

魔理沙「アイテムの効果で通報されないっぽい。近くにいる人にも

効果があるんだってさ」

ルイージ「行きましょう!」

果たしてミッションの行方は!

残り10名

29分

続く

ミッション7 その4 リンクの決意。そして・・・（後書き）

スタッフさん・・・あんだすごいよ・・・

できれば10日までに完結したいが・・・

ミッション7 その5（前書き）

結論 無理でした。

10日まではね・・・

あ、マリオのメールが逃走者全員に届きました。

大体はリンクを許したようです。

ミッション7 その5

ルイージ「にしても、兄さんすごいことしたね・・・」

魔理沙「そうか？ マリオだったらあれくらいやりそうだろう」

と、メールで来たマリオからの言葉で混乱・・・は起きない。

カービィ「アカデミータウンについた・・・後は頼んだよ！」

筒を抜き遂に停止できる状態になる。

魔理沙「・・・ところで、もういいかな？」

ルイージ「・・・どうせ通報されないからいつてみましょう」

魔理沙「そうだな・・・って、なんかさっきと違ってランプみたいなのが消えてるな・・・多分これ止めれるな」

ルイージ「行きましょう！」

魔理沙「ああ！」

魔理沙 ルイージ「せーの・・・」

ガシャン

ミッション クリア

通報部隊が停止する。

魔理沙「よし！」

『ピコン』

マリオ「メール・・・」マリオ カービィ 魔理沙 ルイージの活躍でミッションクリア。 通報部隊は停止した」

ヒナギク「すごいわね・・・」

しかし・・・ゲームはまだ続く・・・

そのころ、あの人は・・・

団長『はい・・・もう何も隠しません・・・私がやりました。ですが部下はこんなことを考えていました・・・』

刑事『これは・・・ 君はどう思う・・・』

団長『私もさすがにこれは・・・』

刑事『君はまた組織に戻るきは？』

団長『もうころころですよ』

刑事『なら、その言葉を見越して少しくらいお前の罪どつにかしてやるよ。ま、期待しないでくれ』

団長『ありがとうございます』

集団員1『いた!』

と、集団員が団長を殴り気絶させ、もう一人が団長を担ぎさらう。

刑事『・・・な、待て!』

謎の場所

謎の存在「・・・」

謎の存在は遊園地の裏口に50対のハンターを設置した・・・

残り時間25分

続く!

ミッション7 その5（後書き）

2010年冬・・・

翡翠煉2011年へとつなぐ謎のシークレット作品『逃走中 謎のAプロジェクト』

逃走者推薦受付中。一人30名まで。ダブったら後の人は無効。詳しくは活動報告で

ミッション8 その1（前書き）

この先の予定

ミッション8 その2 明日

ミッション8 その3 明日

ゲーム終了 あさって

そして謎の存在とあとがき あさって

あくまでも予定です。

ミッション8 その1

『ピコンー!』

マリオ「またメール!?」

リンク「『ミッション8 現在。何かがミッション3から6の計画をした団の団長が拉致された。』え!」

ミク「『ゲーム終了残り10分までに拉致をした2人の男を捕まえなければ50体のハンターを解放する』開放されたら・・・」

ワルイージ「『男を捕まえるには、エリアの城とステージ前に設置された捕獲網を使い男を捕まえる。ただし1つの網で男は一人しか捕まえられない』厳しいな・・・」

ミッション8 ハンター解放を阻止せよ!

遊園地の裏口に団長を誘拐した男たちが向かっている。

裏口には50体のハンターがいて残り10分になると男たちが扉を開け50体のハンターを解放する。

それまでに捕獲網を使い男2人を捕まえなければならない。

尚、一人ひとつしか捕獲網は持てなく、ハンターに当てたら失格となる。

ワルイジ「もしかしたらさ、俺のアイテム使えるんじゃないのか・
・」

リンク「これ逃したらアイテム使えないな・・」

といい、砂時計をひっくり返す。

集団員1「ん、なんだこれは！」

集団員2「おいおい、やばいんじゃない・・」

団長「・・」

『ピコン』

ルイージ「もはや作者がメールで時間稼ぎしてるようにしか見えな
いんだけど・・」

マリオ「『リンクがアイテムを使ったためミッション終了時間が3
分伸びた』おお」

これによりミッションの時間に余裕ができた・・

ピット「ハンターいるかな・・」

と、角を曲がり、ハンターを見つける・・・

ハンター「・・・」

しかし、ハンターはきずいていなく後ろへ戻る。

ピット「あ、つい回っちゃって・・・ハンター！」

ハンター「！」

『ポン』 駅前にてピット確保 残り9人

ピット「もう少しだったのに・・・」

『ピコンー！』

ヒナギク「作者、おかしいでしょ？メール多すぎるわ？」

カービィ「『駅前にてピット確保 残り9名』遂に一桁・・・」

ワルイージ「よし、網だ！」

網を見つけ本格的に探し出すワルイージ。

ゲーム終了残り 19分

続く！

ミッション8 その1（後書き）

アイテムデータ

マリオ ジェットブーツ （210 / 600） 無敵サングラス
トリプルネット（3 / 3）

ネス なし

ヒナギク なし

カービィ なし

ルイージ なし

ワルイージ 逃走データマップ 捕獲網

魔理沙 不可視の仮面

ミク なし

リンク なし

・・・まてまてまてまて、マリオアイテム持ちすぎだろ！

ミッション8 その2

マリオ「ミッション行きたいけど・・・どこに行けばいいのか・・・」

ミッションに向かいたいがその場所が分からないマリオ。

マリオ「とりあえず・・・こっちな？」

闇雲に探すことにしたマリオ・・・

ルイージ「あ、網だ！」

ルイージも捕獲網を手に入れた・・・

カービィ「よし、網だ！」

ヒナギク「網ね・・・」

魔理沙「よし、網を見つけたぜ！」

リンク「ミッションクリアしよう・・・」

次々と網を手に入れる逃走者たち・・・

さらに・・・

ネス「あ、あれだ!」

男たちを見つけたネス。

しかし彼は網を持っていないため捕獲ができない・・・

ネス「メールします!」

逃走者全員に、男のいる場所が通達される・・・

『ピコン!』

マリオ「また・・・今度はネスからか・・・」

ミク「『網を持っていなかったから捕まえられませんでした。男たちを見つけました』 あ!」

魔理沙「『男たちはアカデミータウンの北部にいました。頑張ってください!』 よし、行くか!」

逃走者はアカデミータウンへと向かう・・・

しかし、アカデミータウンにはなぜか・・・

2台のハンターボックスがあった・・・

ゲーム終了残り 16分

続く！

ミッション8 その3

残り15分・・・ミッション終了まで残り8分・・・

男たちはハンターボックスを見つけた。

集団員1「ん、なんだこれ？」

といい、目の前にあったレバーを下げるのと同時に、ハンターボックスの前の電子盤に3：00と表示され、2：59 2：58 と、数字が減っていく・・・

『ピコン！』

マリオ「またメールかよ！」

ミク「『通達 残り12分になると、アカデミータウンから2体のハンターを解放する・・・』ミッションの場所・・・！」

残り12分になると、ハンターは2体解放され、ハンターは7体となる・・・

魔理沙「ちよつとまでよ・・・ミッションクリアしても7体のハンターがいるのか・・・」

リンク「このままじゃあ・・・」

マリオ「開放される前にミッションクリアするぞ！」

それでも、網を持つ逃走者はアカデミータウンに向かう。

ワルイージ「見つけた！」

アイテムを使い男たちをみつけたワルイージ

ワルイージ「食らえ！」

集団員2「うわ！」

一人を捕獲することができ、のこりは1人である・・・

集団員2「おれをおいていけ！ お前は早く連れて行け！」

ワルイージ「よし、あとはほかの人に・・・！ ハンターが・・・
見つけた！」

ハンター「！」

距離はあるものの、ここまで来てスタミナがもつないワルイージが
ハンターからまけるはずもなく・・・

『ポン』 アカデミータウンにてワルイージ確保 残り8名

『ピコンー!』

リンク「『ワルイージ確保 残り8名』・・・」

マリオ「やっとついた!」

アカデミータウンに着いたマリオ。

マリオ「いた!」

といい、網を使い男を捕まえる。

集団員1「しまった!」

ミッションクリア!

刑事「いきなりおどろいたが、まあ、見つかってよかったな」

団長「すいません・・・」

刑事『君が謝ることはないよ・・・』

といい、事件は解決した・・・

しかしゲーム終了まで後12分。

しかも2体のハンターが解放され現在は7体。

8人の逃走者に対し7体のハンター・・・

次回、完結！

ゲーム終了！（前書き）

やっと完結です！

ゲーム終了！

ゲーム終了までは残り12分。

8人の逃走者に対し7体のハンター。

逃走者たちの運命は・・・

魔理沙「というか・・・もう俺のアイテムまったく意味ないんだよな・・・」

彼女の持つアイテム『不可視の仮面』は、通報しか防げない。

通報部隊はもういないし裏切り者であるリンクも通報する気はない・

魔理沙「だがもうすぐ残り10分だ・・・」

しかし・・・逃走中で10分は大きい・・・

それも最後の10分なんて最初の10分と比べてどれほどきついか・

魔理沙「！ハンターが・・・ん？誰かを追ってるのか？」

ハンター「！」

ハンターが追っているのは・・・

ミク「きゃああああ！」

ミクだ・・・

『ポン』 観覧車付近にて初音ミク確保 残り7名

『ピコン！』

魔理沙「メール・・・ って！ ハンターきずいたか！？」

マリオ「ミクもつかまったのか・・・」

魔理沙「ハンターが・・・ 来た！」

ハンターは魔理沙にきずいた。

ハンター「・・・」

しかし、その近くにまた別のハンター・・・

リンク「あ．．．ハンターが．．．」

そのハンターを見つけたリンク．．．

その背後にも．．．さらに別のハンター．．．

実は．．．

さっきのミクの叫び声でハンターが観覧車付近にやってきたのだ．．
・

リンク「これ以上はほんとに．．．嘘だろ！」

リンクは逃げる．．．

魔理沙「って、こっちにもハンター！」

リンク「魔理沙さん！　こっちにもハンターが！」

魔理沙「何だって！」

『ポン』 観覧車付近にて霧雨魔理沙 裏切り者リンク確保 残り5名 残

リンク「結局つかまった・・・」

魔理沙「後6分！ 畜生・・・」

『ピコン！』

マリオ「魔理沙にリンクまで・・・」

ルイーダ「カービィ、ネス、もうすぐ終わるね・・・」

カービィ「まだ気は抜けないね・・・」

ネス「ここまで来れば逃げ切りたいけど・・・！ ハンターが来た！」

城の中に入る逃走者・・・

しかし上の階にはいけないためそれほど広くない・・・

しかもすでに城の中にはハンターがいる・・・

ネス「またハンター！」

ハンター「！」

ルイージ「うう．．．ハンター」

カービィ「こっちに来たね．．．」

ネス「もうだめ！」

『ポン！』 城内にてネス確保 残り4名

ルイージ「もう無理！」

カービィ「僕も．．．」

『ポン！』 場内にて ルイージ カービィ確保 残り2名

残り1分になり、残っている逃走者は後二人．．．

それに対するハンターは7体．．．

「「「「「1」「」「」

逃走成功！ マリオ 桂ヒナギク 162万円獲得！

マリオ「よし！」

ヒナギク「やった！」

といい、162万円を手に入れた二人であつた・・・

謎の存在・・・

マリオ『やった!』

ヒナギク『良かった・・・』

確保者たち『おめでとう!!!』

謎の存在「・・・」

謎の存在は画面を操作する・・・

ゲームの結果を本社に送信しますか？

YES

NO

謎の存在「・・・」

謎の存在はためらいもなくYESを押す・・・

F「やっと終わりましたね・・・」

そこには、服は違うがミッション6終了時に時を止めた少女がいた。

謎の存在「・・・そうだな・・・ お前もよく時間止めてたな・・・

」

F「こつちも頑張ったんですからね・・・」

てなわけだよ　遊園地の怪事件編が完結しました。

やっとですね・・・

結論から言うと、マリオとヒナギクが逃げ切りました。

しかし・・・やっぱり捕まるバランス悪かったかな？

さすがにラスト12分であんなに捕まるなんて・・・

ま、これでやっと完結です・・・！

読んでくれてありがとうございました！

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5873p/>

逃走中 遊園地の怪事件

2011年10月8日13時43分発行